

中村 丁次 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 中村丁次. (2018.8). 管理栄養士・栄養士がどのように活用するのか (p1-3). 「食事バランスガイド」を活用した栄養教育・食育実践マニュアル. 東京: 第一出版.
- 2) 中村丁次. (2018.9). 第1章 栄養管理プロセスの概要 (p2-9). 栄養管理プロセス. 東京: 第一出版.
- 3) 中村丁次. (2019.3). 第1章臨床栄養学の基礎 (p3-15), 第4章疾病者の栄養アセスメント (p28-41), 第29章身体・知的障害 (p360-369). 健康・栄養科学シリーズ臨床栄養学改定第3版. 東京: 南江堂.

2 学術論文

- 1) 中村丁次, 川島由起子, 寺本房子. (2018.4). 栄養ケアプロセスにおける栄養診断. 日本臨床栄養学会雑誌, 40 (1) 8-14.
- 2) 中村丁次, 服部幸應, 渡邊昌. (2018.6). 鼎談: 食育から広がる世界. 医と食, 40 (1) 122-129.
- 3) 中村丁次. (2018.6). 臨床栄養管理における身体計測の活用. 最新版 臨床栄養に検査をどう生かすか. 臨床病理レビュー159, 10-15.
- 4) 中村丁次. (2018.6). 人間栄養学とヒューマンサービスの実現. 日本健康・栄養システム学会誌, 18 (1) 21.
- 5) 中村丁次. (2018.7). 管理栄養士教育における多職種連携教育. 日本栄養学教育学会雑誌, 3 (1) 15-18.
- 6) 樫野いく子, 溝上哲也, 由田克士, 上西一弘, 長谷川祐子, 斉藤裕子, 青柳清治, 倉貫早智, 中村丁次. (2018.8). 栄養プロファイリングを用いた食品の評価. 日本栄養士会雑誌, 61 (8) 445-450.
- 7) Watanabe D, Kuranuki S, Sunto A, Matsumoto N, Nakamura T. (2018.11). Daily Yogurt Consumption Improves Glucose Metabolism and Insulin Sensitivity in Young Nondiabetic Japanese Subjects with Type-2 Diabetes Risk Alleles. *Nutrients*. 2018 Nov 29;10(12). Pii:E1834.doi:10.3390/nu10121834.
- 8) 中村丁次. (2019.1). 栄養の歴史と現代的意義を考える (第1回) 食事の近代化と栄養. 臨床栄養, 134 (1) 115-117.
- 9) 中村丁次. (2019.1). 【栄養100年 その歴史を紐解き、未来への旗を掲げる】. 日本栄養士会雑誌, 62 (1) 4-14.
- 10) 中村丁次. (2019.1). フレイル予防と栄養. 予防医学 第60号, 41-46.
- 11) 中村丁次. (2019.2). 栄養の歴史と現代的意義を考える (第2回) 戦前、戦後の栄養. 臨床栄養, 132 (2) 227-229.
- 12) Nakajima K, Iwane T, Higuchi R, Shibata M, Takada K, Uda J, Anan M, Sugiyama M, Nakamura T. (2019.2). Kanagawa Investigation of the Total Check-up Data from the National database (KICHEN): protocol for data-driven

- population-based repeated cross-sectional and 6-year cohort studies. *BMJ Open*. 2019 Feb 21;9(2):e023323.doi:1136/bmjopen-2018-023323.
- 13) 中村丁次. (2019.2). 栄養の歴史と現代的意義を考える (第3回) 栄養士誕生と栄養改善法. *臨床栄養*, 132 (3) 341-343.
 - 14) 中村丁次. (2019.2). 健康長寿と栄養. *日本体質医学会雑誌*, 81 (1) 57-64.
 - 15) Nakajima K, Higuchi R, Iwane T, Shibata M, Takada K, Sugiyama M, Matsuda M, Nakamura T. (2019.3). High Incidence of Diabetes in People with Extremely High High-Density Lipoprotein Cholesterol : Results of the Kanagawa Investigation of Total Checkup Data from the National Database-1 (KITCHEN-1). *J Clin Med*.2019 Mar 19;8(3).pii:E381.doi:10.3390/jcm8030381.

3 その他の著作

- 1) 中村丁次. (2018.4). 主観的観察を簡便な栄養評価法にする. *週刊 保健衛生ニュース* 第1954号 ヘルス・アイ, 64.
- 2) 中村丁次. (2018.4). わたしは健やかなくらしを選び取ることができる. *UICC 日本委員会ニュースレター* No.23, 9.
- 3) 中村丁次. (2018.5). 果物は健康にいいのか悪いのか. *果実日本巻頭言*, 1.
- 4) 中村丁次. (2018.6). 人類の進化と栄養. *週刊 保健衛生ニュース* 第1961号 ヘルス・アイ, 6.
- 5) 中村丁次. (2018.6). 恐ろしい高齢者の低栄養. *厚生福祉* 第6410号巻頭言, 1.
- 6) 中村丁次. (2018.7). 栄養100年 その歩みと成果を「栄養サミット」へ. *週刊 保健衛生ニュース* 第1968号 ヘルス・アイ, 64.
- 7) 中村丁次. (2018.7). 話題の焦点「高齢者はメタボよりやせ解消を」. *食品化学新聞* (7/5).
- 8) 中村丁次. (2018.7). 食壇「低栄養」対策に舵を切る栄養士会. *食品化学新聞* (7/5).
- 9) 中村丁次. (2018.7). 話題の焦点「栄養指導で予防改善」. *食品化学新聞* (7/26).
- 10) 中村丁次. (2018.9). スペシャルオリンピックと障害者栄養. *週刊 保健衛生ニュース* 第1975号 ヘルス・アイ, 64.
- 11) 中村丁次. (2018.9). 普通に食べられることのありがたさ. *厚生福祉* 第6436号巻頭言, 1.
- 12) 中村丁次, 阿部圭一, 小松龍史 (2018.9). 管理栄養士・栄養士はどこから来てどこへ向かうのか. *日本栄養士会雑誌* Vol.61 SEPTEMBER, 3-6.
- 13) 中村丁次. (2018.10). 健全な連携を進めるための「のりしろ」. *週刊 保健衛生ニュース* 第1975号 ヘルス・アイ, 64.
- 14) 中村丁次. (2018.11). 「栄養学教育学会」で議論することは山のようにある～看護学教育学会に参加して～. *日本栄養学教育学会ニュースメール* 第1号.
- 15) 中村丁次. (2018.11). TOP INTERVIEW やらなければならないことがある不転の決意で未来創造に臨む. *ヘルスケア・レストラン* 第26巻第12号 70-71.
- 16) 中村丁次. (2018.12). 病院給食と栄養管理. *通教月報 病院経営管理* 第482号

巻頭言, 1.

- 17) 中村丁次. (2018.12). 急がなければならない管理栄養士の病院配置. 週刊 保健衛生ニュース 第 1989 号 ヘルス・アイ, 64.
- 18) 中村丁次. (2019.1). 栄養教育と連携教育. 栄養教諭冬第 54 号, 6-15.
- 19) 中村丁次. (2019.1). 高齢者にとっての健康な食事. 厚生福祉第 6464 号, 1.
- 20) 中村丁次. (2019.2). 高齢患者の食事療法. 週刊 保健衛生ニュース 第 1989 号 ヘルス・アイ, 64.
- 21) 中村丁次. (2019.2). ベトナムに「日本型健康栄養特区」の創設を. 日本栄養士会雑誌 Vol.62 FEBRUARY2019, 40.
- 22) 中村丁次. (2019.2). 栄養の歴史と現代的意義を考える 第 2 回「戦前, 戦後の栄養」. 臨床栄養 February 2019.Vol.134,No2, 227-229.
- 23) 中村丁次. (2019.2). 健康長寿と栄養. 日本体質医学会雑誌 第 81 巻 1 号, 57-64.
- 24) 中村丁次. (2019.3). 日本医師会横倉義武会長と対談. 日本栄養士会雑誌 Vol.62 MARCH2019, 38.

4 学会等での活動

- 1) 中村丁次. (2018.5). Asian nutrition policy and professional education for dietitian in Vietnam. 第 18 回日本抗加齢医学会総会. 大阪.
- 2) 中村丁次. (2018.6). 人間栄養学とヒューマンサービスの実現. 第 18 回日本健康栄養・システム学会特別講演. 神奈川.
- 3) 中村丁次. (2018.7). アジアにおける栄養学の向上. The 7th Asian Congress of Dietetics ; ACD2018. 香港.
- 4) 中村丁次. (2018.8). 高齢者がおいしく楽しく暮らすための栄養学. 第 28 回日本看護学教育学会学術集会. 神奈川.
- 5) 中村丁次. (2018.9). 健康長寿と栄養. 第 68 回日本体質医学会総会 特別講演. 神奈川.
- 6) 中村丁次. (2018.9). 学校給食摂取基準の改定について. 第 65 回日本栄養改善学会学術総会. 新潟.
- 7) 中村丁次. (2018.9). 保険福祉学と向き合って. 第 30 回日本保健福祉学会学術集会基調講演. 神奈川.
- 8) 中村丁次. (2018.10). CHINESE NUTRITION SOCIETY. The 16th China Clinical Nutrition Conference. 中国蘇州.
- 9) 阿南真未, 柴田みち, 岩根泰蔵, 樋口良子, 杉山みち子, 中村丁次, 中島啓.
(2018.10). 就寝前夕食・朝食欠食と糖尿病の関連について 特定健診受診者を対象とした 6 年間後方視的コホート研究. 第 40 回日本臨床栄養学会. 東京.
- 10) 柴田みち, 阿南真未, 岩根泰蔵, 樋口良子, 杉山みち子, 中村丁次, 中島啓.
(2018.10). 高齢者のやせにおける血清 Aspartate aminotransferase 高値の意義 特定健診受信者 150 万人の横断研究. 第 40 回日本臨床栄養学会. 東京.
- 11) 中村丁次. (2018.11). 日本の栄養の経験知見をアジアに生かす. FAO/IFPRI 栄養

改善国際会議. タイ バンコク.

- 12) 中村丁次. (2018.12) THE KEY TO IMPROVE NUTRITION. NUTRITION FOR VIETNAMESE INTERNATIONAL SEMINAR. ベトナム ハノイ.
- 13) 中村丁次. (2019.1). 食事療法と健康な食事. 第 22 回日本病態栄養学会年次学術集会 基調講演. 神奈川.
- 14) 中村丁次. (2019.2). Japan School Lunch Program : More than just a Meal. The NDAP 64th Annual Convention. フィリピン.
- 15) 中村丁次. (2019.2). NST スタッフのキャリアアップとスキルアップ. 第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術集会シンポジウム特別発言. 東京.

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人日本栄養士会代表理事・会長，2018.6～
- 2) 一般社団法人日本栄養学教育学会理事長，2013.9～
- 3) 一般社団法人日本臨床栄養学会副理事長，2014.1～
- 4) 一般社団法人日本食育学会常務理事，2013.4～
- 5) 一般社団法人日本予防医学会専務理事，2012.9～
- 6) 日本肥満症治療学会理事，2014.2～
- 7) 一般社団法人日本静脈経腸栄養学会名誉会員，2015.2～
- 8) 牛乳乳製品健康科学会議副代表幹事，2012.3～
- 9) 一般社団法人日本健康・栄養システム学会理事，2017.6～

8 社会貢献

- 1) 鎌倉市食育推進会議会長，2012.4～
- 2) 横浜市食の安全・安心推進横浜会議会長，2012.6～
- 3) 公益信託仲谷鈴代記念栄養改善活動振興基金運営委員長，2015.3～
- 4) 厚生労働省「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業」中間・事後評価委員長 (2015.10～2018.9.30).
- 5) 消費者庁特別用途食品の許可等に関する委員会委員長，2017.5～
- 6) 公益財団法人味の素ファンデーション 食と栄養支援委員会委員，2017.6～
- 7) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター「知」の集積と活用場による革新的技術創造促進事業 (異分野融合発展研究) 評議委員会評議委員，2017.7～
- 8) 一般社団法人日本健康生活推進協会「日本健康マスター検定」監修委員. 2018.4～
- 9) かながわ食育推進県民会議構成員 (2018.4.1～2021.3.31 まで).
- 10) 一般社団法人日本病院会病院経営管理士通信教育講師 (2018.4.1～2019.3.31).
- 11) 特定非営利活動法人 国際生命科学研究所 ILSI Japan 健康な食事研究会アドバイザー委員会の委員 (2018.4.2～2019.3.31).
- 12) 公益財団法人日本健康・栄養食品協会認定健康食品規格基準検討委員(2018.6.1～2020.5.31 まで).
- 13) 特定非営利活動法人 日本栄養改善学会 平成 30 年度管理栄養士専門分野別人材育

- 成事業「教育養成領域での人材育成」親会議委員（2018.6.1～2019.3.31）。
- 14) 神奈川歯科大学 平成 30 年度大講座分野融合型基幹研究「歯科大学による健康長寿に向けた口腔管理アプローチシステムの樹立」プロジェクトの外部評価委員（2018.7.1～2019.3.31）。
 - 15) 公益財団法人 中央果実協会「果物のある食生活推進全国協議会」委員（2018.7～2020.6 まで）。
 - 16) 平成 30 年度 ごはん食健康データベース整備事業研究・調査における先行委員会委員（2018.7.10～2020.3.31 まで）。
 - 17) 公益財団法人学校給食研究改善協会「すこやか情報便第 22 号」の編集委員。

9 講演、放送

- 1) 日本の栄養政策と課題。ニュージーランドと日本の栄養政策・栄養教育に関する学術交流会。ニュージーランド。2018.4.
- 2) 開学から 15 年～ヒューマンサービスの新しい展開～。神奈川県立保健福祉大学平成 30 年度ヒューマンサービス公開講座<春期>（於 神奈川県立保健福祉大学）。2018.5.
- 3) 高齢社会の栄養と健康。第 72 回日本栄養・食糧学会大会 市民公開講座（於 岡山県立大学）。2018.5.
- 4) 高齢者の低栄養予防の重要性について。ifia/HFE JAPAN2018 セミナー（於 東京ビッグサイト）。2018.5.
- 5) 正しい栄養情報の発信と行動変容。第 5 回協会設立記念講演 一般社団法人臨床栄養実践協会（於 大田区産業プラザ Pio）。2018.5.
- 6) 栄養障害の二重負荷。平成 30 年度全国栄養士大会（於 パシフィコ横浜）。2018.7.
- 7) 元気な 100 歳。平成 30 年度（第 62 回）湯河原町民大学（於 湯河原町立図書館）。2018.7.
- 8) 健康長寿社会と栄養・食事－生活習慣病とフレイル対応－。第 22 回医食農連携プラットフォーム研究会（於 SHIMA BOAT HOUSE）三重県。2018.7.
- 9) 教育原理・教育心理－患者との接し方－。平成 30 年度歯科衛生士専任教員講習会 I（於 神奈川歯科大学短期大学部）。2018.8.
- 10) 学長基調講演。神奈川県立保健福祉大学オープンキャンパス（於 神奈川県立保健福祉大学）。2018.8.
- 11) 栄養によるフレイル予防。JAFA ハイクラスセミナー 公益社団法人日本フィットネス協会（於 専門学校社会医学技術学院）東京都。2018.8.
- 12) 新たな栄養課題に対応するために栄養教諭・学校栄養職員が学ぶこと。平成 30 年度学校栄養職員等研修会（於 なかの ZERO 西館）。2018.8.
- 13) 未病をテーマとした講演会。ME-BYO サミット県民フォーラム「健康フェア in 横須賀」（於 AEON 横須賀店）。2018.8.
- 14) 健康な食事と機能性食品の展望。日本機能性食品医用学会教育セミナー2018（於 東京慈恵会医科大学）。2018.8.

- 15) 健康寿命の延伸と栄養. 第一回統合医療研究所・八ヶ岳 Lab.開設記念シンポジウム (於 スパティオ小淵沢) 山梨県. 2018.9.
- 16) 成長期アスリートの食生活. 第20回ダノン健康栄養フォーラム (於 よみうりホール). 2018.9.
- 17) スポーツ栄養と臨床栄養学ー人体栄養の新時代をひらくー. 第16回大連合大会 (第40回日本臨床栄養学会総会・第39回日本臨床栄養協会) (於 虎ノ門ヒルズフォーラム). 2018.10.
- 18) CHINESE NUTRITION SOCIETY. The 16th China Clinical Nutrition Conference. 中国蘇州. 2018.10.
- 19) 日本栄養士会が取り組むべき課題. 平成30年度全国福祉栄養士研修会 (於 東京ビッグサイト). 2018.10.
- 20) 栄養アセスメントとは食事摂取基準と栄養補給. 第48期食品保健指導士養成講習会 (於 公益財団法人日本健康・栄養食品協会) 東京都. 2018.10.
- 21) ヒューマンサービスの実現に向けて. 盤錦職業技術学院来訪 基調講和 (於 神奈川県立保健福祉大学). 2018.10.
- 22) 食べかた上手ー健康長寿のコツー. 2018 予防医学フォーラム (於 神戸新聞松方ホール) 兵庫県. 2018.11.
- 23) 健康寿命の延伸と医食農連携の役割. 特別講義 (二)「医食農連携のススメ」(於 東京農業大学オホーツクキャンパス). 2018.11.
- 24) 今後の管理栄養士. 甲南女子大学医療栄養学部開設記念 公開シンポジウム (於 甲南女子大学). 2018.11.
- 25) 臨床栄養管理の歩みと課題. 第8回栄養管理指導者協議会 (於 松山市立子規記念博物館) 愛媛県. 2018.11.
- 26) 和食を中心とした献立の提供と栄養管理. 第69回全国学校給食研究協議大会 (分科会) (於 神戸国際会議場). 2018.11.
- 27) 栄養障害の二重負荷の解決をめざす. 平成30年度学校健康教育事業部全国研修会 (於 東京家政大学). 2018.11.
- 28) 食生活改善への取組. 平成30年度日中韓NCDs シンポジウム (於 国立がん研究センター築地キャンパス). 2018.11.
- 29) 栄養療法学特論. 京都女子大学大学院特別講義 (於 京都女子大学). 2018.12.
- 30) みんなで楽しく食育を. かわにし食育フォーラム2018 (於 アステ市民プラザ アステホール) 兵庫県. 2018.12.
- 31) 管理栄養士・栄養士現場のエビデンスの再編ー科学的根拠に基づく管理栄養士・栄養士の活動ー. 平成30年度看護栄養学部客員教授特別講義 (於 島根県立大学出雲キャンパス). 2018.12.
- 32) 日本栄養士会が取り組むべき課題. Nutrition 特別記念セミナー (於 ホテルマイステイズ松山) 愛媛県. 2018.12.
- 33) 和食を中心とした献立の提供と栄養管理のあり方. 第49回京都府学校給食研究協議大会 (於 京都府民総合交流プラザ). 2018.12.
- 34) 健やかな食事をとれる世界を目指して. GGG+フォーラム東京2018:日本の知見

- で TICAD7 を成功に！（於 ルポール麴町）. 21018.12.
- 35) 栄養食事管理. 病院経営管理士通信教育後期スクーリング講師（於 日本病院会）. 2019.1.
 - 36) 勇気と誇りを持って時代を切り開く. 第 46 回これから栄養士になる人の集い（於 横須賀市文化会館）. 2019.1.
 - 37) 未来に向かって管理栄養士・栄養士が地域で輝くために. 平成 30 年度公衆衛生事業部全国新任者研修会（於 リロ会議室）東京都. 2019.1.
 - 38) 障害のある人の食の研究、スタート！～厚生労働省科学研究で課題指定に～. 第 23 回 アメニティーフォーラム（於 びわ湖大津プリンスホテル）. 2019.2.
 - 39) 臨床栄養の展開 病院から在宅への課題. 第 50 回日本臨床栄養協会近畿地方会（於 なんばスカイオ）. 2019.2.
 - 40) 管理栄養士・栄養士の展望と期待. 平成 30 年度全国研究教育栄養士研修会（於 東京聖栄大学）. 2019.2.
 - 41) 腸内フローラの改善と栄養指導. 医療機関栄養士向け講演会（於 TKP ガーデンシティ PREMIUM みなとみらい）. 2019.2.
 - 42) 日本の公衆栄養学. ロシアにおける病院食等展開推進事業関連（於 霞が関ビルディング）. 2019.2.
 - 43) 学童期における子供の心身の健康問題について～学校現場でできること～. 町田市学校保健会栄養士部会研修会（於 町田市役所）. 2019.3.
 - 44) 妊娠期からの栄養. 平成 30 年度神奈川県看護協会助産師職能委員会研修（於 神奈川県看護協会）. 2019.3.
 - 45) 腸内フローラの改善と栄養指導. 医療機関栄養士向け講演会（於 ザ・マーカススクエア神戸）. 2019.3.
 - 46) 健康長寿社会と食事、栄養. 第 25 回医食農連携プラットフォーム研究会（於 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック）東京都. 2019.3.
 - 47) 口腔から取る栄養バランスの重要性とその実施法. 神奈川歯科大学大学院「スカ健プロジェクト」シンポジウム（於 神奈川歯科大学横須賀キャンパス）. 2109.3.
 - 48) 管理栄養士・栄養士の展望と期待. 平成 30 年度全国福祉栄養士研修会～管理栄養士・栄養士に求められていること～（於 東京聖栄大学）. 2019.3.
 - 49) NCM のパイオニア達へ. 実践教育センター栄養ケア・マネジメント課程同窓会第 4 回例会（於 神奈川県立保健福祉大学）. 2109.3.
 - 50) 人生 100 歳、元気でハツラツと生きるには. 港南区制 50 周年記念講演会（於 港南区民文化センターひまわりの郷）. 2109.3.
- 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託
- 1) 中村丁次, 大和田裕子. 厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業（身体・知的障害分野）. 1,440 千円.

杉山 みち子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 杉山みち子, 川畑明日香, 藤谷朝実, 山城秋美. (2018). 子どもの食べる楽しみの充実をめざす栄養ケア・マネジメント. 藤谷朝実, 堤ちはる, 杉山みち子, 小山秀夫編. 日本健康・栄養システム学会監修, 子どもの「食べる楽しみ」を支援する一特別な配慮を必要とする子どもの栄養ケア・マネジメントのために— (pp.127-138). 東京: 建帛社.

2 学術論文

- 1) 長瀬香織, 田中和美, 磯部壮一郎, 高田健人, 中原慎二, 市川政雄, 杉山みち子. (2018). 神奈川県 Y 市在住要支援高齢者の低栄養リスクと「料理・買い物状況」及び「地域とのつながり」との関係. 日本健康・栄養システム学会雑誌,17(2),31-41.
- 2) 松山紗奈江, 加藤昌彦, 榎裕美, 宇田淳, 高田和子, 大原里子, 遠又靖丈, 荻部康子, 堤亮介, 小山秀夫, 高田健人, 藤川亜沙美, 長瀬香織, 松本菜々, 杉山みち子. (2019). 介護保険施設における経口維持による看取り及び在宅復帰支援のための栄養ケア・マネジメントの関連要因についての横断的検証～特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設における全国調査より～. 日本健康・栄養システム学会雑誌,18(2),2-11.
- 3) 藤川亜沙美, 高田健人, 長瀬香織, 松本菜々, 榎裕美, 高田和子, 大原里子, 小山秀夫, 杉山みち子. (2019). 介護保険施設入所高齢者における入院、死亡に関わる低栄養とミールラウンドによる観察項目との関連. 日本健康・栄養システム学会雑誌,18(2),12-20.
- 4) 藤川亜沙美, 高田健人, 長瀬香織, 松本菜々, 榎裕美, 高田和子, 大原里子, 小山秀夫, 杉山みち子. (2019). 介護保険施設入所高齢者におけるミールラウンド体制と入院、死亡との関連. 日本健康・栄養システム学会雑誌,18(2),21-29.
- 5) 峯木眞知子, 和田涼子, 杉山みち子, 高田和子. (2019). 高齢者施設におけるエネルギー必要量の推定方法の実際とその課題に関する研究. 栄養学雑誌,76(6),163-171.
- 6) Nakajima K, Iwane T, Higuchi R, Shibata M, Takada K, Uda J, Anan M, Sugiyama M, Nakamura T. The Kanagawa investigation of the total checkup data from the national database (KITCHEN): Protocol for data-driven population-based repeated cross-sectional and 6-year cohort studies. *BMJ Open* 2019;9(2):e023323
- 7) Nakajima K, Higuchi R, Iwane T, Shibata M, Takada K, Sugiyama M, Matsuda M, Nakamura T. High incidence of diabetes in people with extremely high HDL cholesterol: Results of the Kanagawa Investigation of Total Checkup Data from the National Database-1 (KITCHEN-1). *Journal of Clinical Medicine*. 2019;8(3). pii: E381.

3 その他の著作

- 1) 杉山みち子 (委員長), 小山秀夫, 井上崇, 宇田淳, 榎裕美, 大原里子, 加藤昌彦, 荻部康子, 高田和子, 高田健人, 田中和美, 堤亮介, 遠又靖丈, 長瀬香織, 中村春基, 野

地有子, 光山誠, 横内俊弘, 浅見桃子, 藤川亜沙美. 平成 30 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究事業報告書. 335 頁. 日本健康・栄養システム学会. 2019 年 3 月

4 学会等での活動

- 1) 日本健康・栄養システム学会理事, 第 18 回日本健康・栄養システム学会大会長(6 月 23, 24 日. 神奈川県立保健福祉大学), 臨床栄養師研修運営担当.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 厚生労働省保健局高齢者医療課. 高齢者の保健事業のあり方検討ワーキング構成員.
- 2) 神奈川県かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進委員会副委員長, 専門部会委員長.

6 学内教育活動

- 1) 栄養管理概論, 栄養教育総論・各論 I・II, 栄養教育実習, 臨床栄養学臨地実習, 栄養学(看護学科), 栄養ケア・マネジメント特論・栄養ケア・マネジメント演習・実習, 栄養政策論(大学院前期), 保健福祉栄養評価特論, 保健福祉栄養評価演習, 多職種連携システム開発演習(大学院後期), 栄養ケア・マネジメント課程(実践教育センター)
- 2) 卒業論文指導: 地域高齢者, 施障害者の栄養ケア・マネジメント等に関する研究等 7 名
- 3) 修士論文指導: 川端明日香「神奈川県指定障害者支援施設における栄養ケア・マネジメントに関する研究」他 2 名
- 4) 博士論文指導(副指導教員): 柴田みち「体重異常の両極において加齢が与える影響—かながわ NDG 臨床疫学研究による検討—」(指導教員: 中島啓), 鈴木恵, 「医療・介護関連肺炎患者の意思の尊重・QOL 向上を考慮した在宅ケアモデルの開発」(指導教員: 水戸優子),

7 学内各種委員会活動

- 1) 2018.4~2019.3. 栄養学科学科長, 教育審議会委員, 総務企画委員会委員
地域貢献研究センター副センター長

8 社会貢献

- 1) 横須賀市栄養士連絡協議会及び障害者の栄養ケアに関わる栄養士勉強会の支援

9 講演, 放送

- 1) 栄養ケア・マネジメントの質の向上及び管理栄養士の教育制度に関する講演

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 杉山みち子(分担者). 神奈川県健康団地未病(低栄養)対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究(代表 中村丁次, 担当者 高田健人, 2

年目 1,081 千円) ※28-30 年

- 2) 杉山みち子 (研究分担者). ベトナム国医療施設における「栄養不良の二重負荷」と栄養管理システムの実態. 平成 29 年度科学研究費助成事業 (基盤研究 B) (研究代表者 中村丁次) 2,000 千円.
- 3) 平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の検証等のための研究 (研究代表者 中村丁次の分担研究者) 6,000 千円 ※30-31 年

佐野 喜子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 佐野喜子、大橋健、曾根博仁、本田桂子編著. 糖尿病の最新食事療法のなぜに答える実践編. 医歯薬出版株式会社. (東京) 2018.4

2 学術論文

- 1) 佐野喜子、津下一代「糖尿病重症化予防プログラム普及に向けた研究」60代で国保に参入する糖尿病腎症リスクを保有する勤労者における重症化予防プログラムの展開状況 (P176-182). 平成30年度厚生労働科学研究委託費(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)「糖尿病性腎症 重症化予防プログラムの効果検証と重症化予防のさらなる展開を目指した研究」(分担) 研究報告書 (2019.2.)

3 その他の著作

- 1) 糖尿病腎症重症化予防広報有識者委員(佐野). 糖尿病性腎症重症化予防に関する事業実施の手引き. 厚生労働省保健局国民健康保険課. 2019.3

4 学会等での活動

1) シンポジウム

佐野喜子. 「職種を超えて「平等参画」の推進を」第39回日本肥満学会 シンポジウム5 「肥満症学(研究・臨床)がつむぐ女性医師のキャリアパス」(神戸, 2018.10)

2) シンポジウム

佐野喜子. 「カーボカウント指導と運用の実際～管理栄養士の立場から～」第53回糖尿病の進歩 シンポジウム3 「カーボカウント指導と運用の実際」(青森, 2019.3)

- 3) 栄口由香里、野村 恵里、村本あき子、植木浩二郎、岡村 智教、樺山舞、後藤資実、佐野喜子、平田匠、福田敬、三浦克之、森山美知子、安田宜成、矢部大介、和田 隆志、津下一代. 「全国自治体で実施可能な糖尿病性腎症重症化予防プログラムの開発と実証(第2報)」第61回日本糖尿病学会年次学術集会口演(東京, 2018.5)

- 4) 佐野喜子. 「20代女性における減量中の栄養評価「隠れ肥満」87名の場合」第39回日本肥満学会口演(神戸, 2018.10)

5 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 日本肥満学会 評議員
- 2) 日本肥満学会 刊行編集委員
- 3) 日本肥満学会 刊行編集委員会 肥満研究査読基準検討小委員会 委員
- 4) 日本肥満学会 刊行編集委員会 転載許諾基準検討小委員会 委員
- 5) 日本肥満学会 栄養に関する委員会 委員
- 6) 日本肥満学会 女性会員の活動を推進するための委員会 委員
- 7) 日本肥満学会 生活習慣病改善指導士カリキュラム委員会 委員

- 8) 日本肥満学会 生活習慣病改善指導士認定委員会 委員
- 9) 日本未病システム学会 評議員

6 学内教育活動

- 1) 学部：公衆栄養学Ⅰ・Ⅱ、公衆栄養学実習、公衆栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ、エビデンスベースドヘルスケア、公衆衛生学Ⅰ、外書購読、総合演習、卒業研究(5名)、
(分担科目：公衆衛生学Ⅱ、栄養管理学概論、栄養教育各論Ⅰ、健康科学概論)
- 2) 大学院研究科(前期)：栄養実践活動調査研究特論、栄養実践活動調査研究特論演習
栄養学特別研究
- 3) 大学院研究科(後期)：保健福祉栄養評価論
- 4) 実践教育センター：栄養教育、集団の栄養評価と計画、栄養ケア・マネジメントの展開（中間発表、最終発表）
- 5) 相模女子大学 管理栄養士科との授業交換（2018.7 相模女子大学で実施）

7 学内各種委員会活動

- 1) 広報委員会 委員長

8 社会貢献

- 1) 逗子市食育推進計画策定委員（①2018.6, ②2018.11, ③2019.2.）
食育推進計画の拡散を目的とした推進懇話会に参画し、専門的情報を提供する。
- 2) 神奈川県生活習慣病対策委員会 かながわ健康プラン 21(第2次)目標評価部会委員
(2018.7～2019.3)
基準値、目標値、調査結果から各行動計画の達成状況検討を行った。
- 3) 神奈川県生活習慣病対策委員会 かながわ健康プラン 21(第2次)目標評価ワーキングチーム（2018.5～2019.3）
県民健康・栄養調査から現状と問題点を解明し、目標達成度の評価に活用するための基礎資料を整備する。
- 4) 横須賀市特定健診・保健指導、重症化予防事業への運営支援（2017.4～継続中）
特定健診受診率の向上のため、市民アンケート作成や事業運営のサポート。
- 5) 厚木市糖尿病重症化予防事業への助言（2018.8～2019.3）
厚木市国保年金課に対する厚生労働科学研究分担研究者としての運営サポート。
- 6) 神奈川県立保健福祉大学オープンキャンパス（2018.8）
- 7) " " 栄養学科ミニオープンキャンパス（2019.3）

9 講演、放送

【厚生労働省主催】

- 1) 糖尿病性腎症重症化予防セミナー「重症化予防の効果的な取組について」
(札幌会場,2018.12)
- 2) " " (岡山会場,2019.2)

3) // (博多会場,2019.3)

【都道府県、市町村など】

- 1) 公益財団法人宮崎県健康づくり協会「宮崎県保健指導実施者初任者研修」(宮崎,2018.7)
- 2) 東京都健康福祉財団「健康づくり事業推進指導者育成研修」(東京,2018.7)
- 3) 公益社団法人 日本栄養士会「平成30年度全国栄養士大会併催市民公開講座」
(横浜,2018.7)
- 4) 東京都足立区保健所「職能研修:糖尿病重症栄養指導従事者」(東京,2018.8)
- 5) 青森県国保連合会「特定保健指導実践者フォローアップ研修」(青森,2018.8)
- 6) 東京都中野区地域活動栄養士会「職能研修」(東京,2018.10)
- 7) 公益社団法人 日本栄養士会「保健指導担当者研修」(東京,2018.10)
- 8) 神奈川県糖尿病対策会議「神奈川糖尿病デー2018市民講演会」(横浜,2018.11)
- 9) 北海道国保連合会「生活習慣病予防対策担当者研修」(札幌,2018.11)
- 10) 公益財団法人横須賀市健康福祉財団「在宅ケア講演会」(横須賀,2018.11)
- 11) 公益財団法人宮崎県健康づくり協会「宮崎県保健指導実施者経験者研修」(宮崎,2019.1)
- 12) 千葉県健康福祉部「糖尿病性腎症重症化保健指導従事者研修」(千葉,2019.3)
- 13) 全国健康保険協会栃木支部「特定保健指導外部委託機関担当者研修」(宇都宮,2019.3)

【保健指導機関】

- 1) SOMPO リスクケアマネジメント株式会社「全国チーフ研修」(東京, 2018.9)
- 2) ㈱ベネフィットワン・ヘルスケア「職能研修:全国ブロック(東京・名古屋・大阪・広島)研修」(2018.8～11) 2)は受託研究の一環として計9回(336名)実施した。

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 平成30年度 厚生労働科学研究委託費(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)「糖尿病性腎症 重症化予防プログラムの効果検証と重症化予防のさらなる展開を目指した研究」における分担研究。(2018.4～2021.3) .
- 2) 受託研究
「重症化予防プログラムの普及に向けた指導者研修のあり方についての検討」
受託先:株式会社ベネフィットワン・ヘルスケア保健指導事業部 (2018.5～2019.3)

- | | | |
|----|------------|----|
| 11 | 学内研究助成金の受託 | なし |
| 12 | 受賞 | なし |
| 13 | 特許など | なし |
| 14 | その他 | なし |

鈴木 志保子（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 位田忍, 玉井浩, 清水俊明, 鈴木志保子, 他多数 (2018). 小児臨床栄養学. 東京: 診断と治療社 p.359- p.362
- 2) 鈴木志保子 (2018). 理論と実践 スポーツ栄養学. 東京: 日本文芸社
- 3) 鈴木志保子 (2018). 一般社団法人 日本スポーツ栄養協会協力 アスリートとスポーツ愛好家のためのレシピ. 2018.12.20 東京: 株式会社 食品産業新聞社

2 学術論文

- 1) 中西朋子, 樋口良子, 鈴木志保子, 川久保清 (2018). 「5・6歳の幼児におけるスマートフォンや携帯電話の使用と起床時刻、就床時刻、就寝時刻との関係」. 日本健康・栄養システム学会誌, Vol.17No.2, p24-30
- 2) 松本秀男, 虎石真弥, 鈴木志保子, 他多数 (2018). 「栄養学の基礎, スポーツ栄養学総論」. 臨床スポーツ医学, Vol.35No.11, p.1122- p.1127. 東京: 文光社
- 3) 中西朋子, 吉川達哉, 高村晴美, 樋口良子, 鈴木志保子 (2018). 「50歳代消防職員における健康・生活観の実態および健康・生活観と運動との関係」. 神奈川県立保健福祉大学誌, 2019.第16巻, p15-24
- 4) 吉川達哉, 小林由衣, 中西朋子, 樋口良子, 鈴木志保子 (2018). 「小学校給食における主食の配食状況とエネルギー摂取量の関係」. 神奈川県立保健福祉大学誌, 2019.第16巻, p24-35
- 5) 高村晴美, 中西朋子, 鈴木志保子 (2018). 「前期高齢者における再入院のリスク因子に関する研究」. 神奈川県立保健福祉大学誌, 2019.第16巻, p37-46
- 6) 鈴木志保子 (2018). 「スポーツ栄養におけるエビデンスとサポート～公認スポーツ栄養士に期待すること～」. 体育の科学 Vol.69 No.3, p195-p199

3 その他の著作

- 1) 鈴木志保子 (2018). カロリーナのバランス栄養 次の一歩.2018.5～2019.3 東京: 将棋世界
- 2) 鈴木志保子 (2018). ランチライフ スポーツ栄養学の世界.2018.7～ 東京: ヤクルト本社
- 4) 鈴木志保子 (2018). Strength&Conditioning Journal Vol.26.2019.1 東京: NSCA ジャパン日本ストレングス&コンディショニング協会
- 5) ヨーコ ゼッターランド, 川原貴, 高峰修, 竹中晃二, 田村好史, 能瀬さやか, 青野博, 鈴木志保子 (2018). 女性スポーツ推進に向けたスポーツ指導者ハンドブック.2019.2 東京: 公益財団法人 日本スポーツ協会

4 学会等での活動

教育講演

- 1) 第 18 回日本健康・栄養システム学会「トップアスリートのためのスポーツ栄養マネジメント」2018.6.23
- 2) 日本スポーツ栄養学会第 5 回大会 「あの時君は若かった～私の京都時代～」
2018.7.22
- 3) 平成 30 年度全国栄養士大会 「女性アスリートのエネルギー不足の評価を一般女性にも活用する」2018.7.29
- 4) 平成 30 年度日本栄養学教育学会学術集会「管理栄養士・栄養士のめざす姿の現状と今後」2018.9.2
- 5) 平成 30 年度（第 49 回）千葉県栄養改善大会「100 歳目指して健康づくり」2018.9.27

ランチョンセミナー

- 1) 第 64 回日本栄養改善学会学術総会 「若年女性の栄養改善のために」2018.9.5

発表

- 1) 佐藤郁子, 鯉川なつえ, 中西朋子, 加藤千穂, 片岡沙織, 鈴木志保子. 小学生女子アスリートにおける体重増加のための栄養サポート (2018) 日本スポーツ栄養学会第 5 回大会
- 2) 高村晴美, 吉川達哉, 樋口良子, 中西朋子, 鈴木志保子. 入院高齢者における栄養摂取状況と再入院関連要因の検討. (2018) 第 65 回日本栄養改善学会学術総会
- 3) 中西朋子, 樋口良子, 高村晴美, 栗原和也, 吉川達哉, 鈴木志保子. 保育園に就園している 5・6 歳児における睡眠と行動に関する研究 (2018). 第 65 回日本栄養改善学会学術総会
- 4) 吉川達哉, 樋口良子, 高村晴美, 中西朋子, 鈴木志保子. 小学校給食における配食状況をエネルギー摂取量の関連 (2018). 第 65 回日本栄養改善学会学術総会
- 5) 佐藤郁子, 中西朋子, 加藤千穂, 片岡沙織, 鈴木志保子. 視床下部性無月経アスリートに対する利用可能エネルギーの改善事例 (2018). 第 65 回日本栄養改善学会学術総会
- 6) 桜間裕子, 松田貴雄, 鯉川なつえ, 鈴木志保子. 女子高校生アスリートにおける Female Athlete Triad のスクリーニングツールの有効性 (2018). 第 29 回臨床スポーツ医学会学術集会
- 7) 鯉川なつえ, 窪まゆみ, 大沢亜紀, 松田貴雄, 鈴木志保子. Female Athlete Triad ランナーの血液性状の特徴と LEP 服用による変化 (2018). 第 29 回臨床スポーツ医学会学術集会

座長・指導助言者

- 1) 第 59 回全国栄養教諭・全国栄養職員研究大会 分科会指導助言者.2018.8.3
- 2) 日本スポーツ栄養学会第 5 回大会 「競技を知る～長距離ランナーの競技と食生活～」座長 2018.7.22 日本栄養改善学会
- 3) 第 64 回日本栄養改善学会学術総会 ランチョンセミナー「若年女性の栄養改善のために」座長 2018.9.5

5 学会，協会，公的団体の委員など

日本栄養・食糧学会、日本体力医学会、日本体育学会、日本運動生理学学会、
 日本栄養改善学会、日本肥満学会、日本発育発達学会、日本スポーツ栄養学会、
 NSCA ジャパン日本ストレングス&コンディショニング協会、日本公衆衛生学会、
 日本学校保健学会、日本栄養学教育学会、日本生理人類学学会、スローカロリー研究会、
 日本スポーツパフォーマンス学会、日本保健福祉学会、日本小児保健協会

1) 理事・評議員等

日本運動生理学学会 評議員 2002～
 特定非営利活動法人日本栄養改善学会 評議員 2002.12～
 一般社団法人日本体力医学会 評議員 2003.10～
 特定非営利活動法人日本スポーツ栄養学会 理事 2004.10～
 一般社団法人日本肥満学会 評議員 2011.1.1～
 公益財団法人三菱養和会 評議員 2011.6～
 一般社団法人日本栄養学教育学会 代議員 2013.9～
 一般社団法人スローカロリー研究会 理事 2017.2.10～
 一般社団法人日本摂食障害協会 参与 2018.4.1～
 一般社団法人日本スポーツ栄養協会 理事長 2018.6.14～
 一般社団法人メディカルスポーツ協会 理事 2018.11.1～

2) 特定非営利活動法人 NSCA ジャパン日本ストレングス&コンディショニング協会編集委員会委員 2007.4.～

- 3) 横須賀市児童生徒健康・体力向上推進委員会委員 2011～
- 4) 横須賀市スポーツ推進審議委員会委員 2012.4.1～2020.3.31
- 5) 鹿屋体育大学 非常勤講師 2014.6～2019.3.31
- 6) 特定非営利活動法人日本栄養改善学会
 学会賞等選考委員会委員 2017.11.1～2019.10.31
- 7) 順天堂大学 女性スポーツ研究センターにおける女性アスリートのコンディショニング管理
 に関する研究 研究員 2014.9～2019.3.31
 順天堂大学 女性スポーツ研究センターが実施する調査研究業務調査員
 2014.9～2019.3.31
- 8) 3033 生涯スポーツ推進会議委員 副委員長 2016.6.29～
- 9) 公益財団法人日本体育協会 スポーツ医・科学専門委員会委員 2015.7.10～
- 10) 大学等連携事業「神奈川パラアスリートサポート事業」スタッフ 2017.4.1～
- 11) 健康・体力づくり事業財団 健康運動指導研究助成事業に係る選考委員会委員
 2015.12～
- 12) 文部科学省「学校における食育推進に係る協力者会議」委員 2017.12.1～2019.3.31
- 13) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「東京 2020 大会飲食戦略
 検討会議」委員 2018.3～2019.3.31
- 14) 横浜市学校保健審議会会長 2017.1.15～2019.1.14
- 15) 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会女性スポーツ

委員会委員 2017.4.1～2021.3.31

- 16) 特定非営利活動法人日本栄養改善学会平成30年度管理栄養士専門分野別人材育成事業「教育養成領域での人材育成」WG委員 2017.6.1～2019.3.31
- 17) 横須賀市学校給食運営審議会委員 2017.10.1～2019.3.31
- 18) 宇都宮大学 非常勤講師 2018.9.1～
- 19) 公益財団法人スポーツ協会 「女性スポーツ推進事業における女性コーチ育成事業」プロジェクトメンバー 2018.11.16～2019.3.31
- 20) 横須賀市学校給食センター整備運営事業者選定委員 2018.9.1～2020.3.31
- 21) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「東京2020大会メニューアドバイザー委員会」副座長 2019.3.1～2019.9.30

6 学内教育活動

- 1) 応用栄養学実習における教材作成と新規授業内容の検討
- 2) スポーツ栄養学における事例資料の作成

7 学内各種委員会活動

- 1) 大学院運営委員会委員, 2018.4.1～
- 2) 人権倫理委員会委員, 2018.4.1～
- 3) 衛生委員会委員, 2018.4.1～

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパスにおいて参加者に栄養学科授業について説明を行った。
- 2) 鈴木志保子, 実践教育センター 栄養ケア・マネジメント課程での「栄養教育と地域活動」、子どもの食育支援研修「子供の食育」の講義.2018.6.22/11.13

9 講演, 放送 (抜粋)

- 1) 鈴木志保子, 消防庁消防大学校 消防大学校教育訓練での「身体管理」の講演
- 2) 鈴木志保子, 横須賀市立横須賀総合高校 栄養指導講演会での「ジュニアアスリートのためのスポーツ栄養の基礎」の講演
- 3) 鈴木志保子, 神奈川県消防学校 平成30年度第214期消防職員初任教育での「熱中症対策と水分補給」の講演
- 4) 鈴木志保子, 横須賀市体育協会強化事業での講演.
- 5) 鈴木志保子, 日本体操協会コーチ育成協会(新体操)公認スポーツ指導者養成講習会専門科目新体操 基礎理論「栄養管理I」の講演
- 6) 鈴木志保子, 横須賀市 第38回横須賀市体力づくり実践研究発表大会での講演.
- 7) 鈴木志保子, 小児科学会 第13回子どもの食育を考えるフォーラムでの「アスリートの問題」の講演
- 8) 鈴木志保子, 日本パラリンピック協会 JPC 医・科学情報サポート研修会での「障がい者女性アスリートの食生活のポイント」の講演
- 9) 鈴木志保子, 第1回神奈川県栄養士実践・研究大会での「温故知新～食べる力は生き

る力～」の講演

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 鈴木志保子，市立横須賀総合高等学校 運動部活動栄養サポート，
研究 D（受託研究），654,880 円，2018.5.27.～2019.3.31

11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B(奨励研究)「パラリンピックアスリートにおける栄養素等摂取状量と障害
部位・状況に関する研究」 代表研究者，研究経費：平成 30 年度 530,033 円

田中 和美（大学院研究科兼務）

1. 著書

- 1) 田中和美. (2018). 栄養・食生活からの支援と介護. 介護支援専門員基本テキスト 3 高齢者の保健医療・福祉の基礎知識. 369-390 頁. 東京：一般財団法人長寿社会開発センター.

2. 学術論文

- 1) 長瀬香織, 田中和美, 磯部壮一郎, 高田健人, 中原慎二, 市川政雄, 杉山みち子. (2018). 神奈川県 Y 市在住要支援高齢者の低栄養リスクと「料理・買い物状況」及び「地域とのつながり」との関係. 日本健康・栄養システム学会雑誌,17(2),31-41.

3. その他の著作

- 1) 杉山みち子（委員長）, 小山秀夫, 井上崇, 宇田淳, 榎裕美, 大原里子, 加藤昌彦, 苅部康子, 高田和子, 高田健人, 田中和美, 堤亮介, 遠又靖丈, 長瀬香織, 中村春基, 野地有子, 光山誠, 横内俊弘, 浅見桃子, 藤川亜沙美. 平成 30 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究事業報告書. 335 頁. 日本健康・栄養システム学会. 2018 年 3 月
- 2) 田中和美, 湯野真理子. 地域包括ケア推進における行政栄養士の活動～市町村における管理栄養士の役割～. 12-13 頁. 日本栄養士会雑誌. 2018 年 6 月
- 3) 田中和美, 湯野真理子. 管理栄養士によるフレイル対策～地域高齢者の低栄養を予防する～. 91-96 頁. 介護予防・健康づくり日本介護予防・健康づくり学会編 Vol.5 No.2. 株式会社杏林書院. 2018 年 12 月
- 4) 田中和美. 低栄養および重症化予防 成果が見える訪問事業の取組み. 平成 29 年度地域保健総合推進事業「地域包括ケアシステムの構築における行政管理栄養士等の役割に関する研究」報告書 (pp126-132). 日本公衆衛生協会. 2018 年 3 月

4. 学会等での活動

- 1) 日本健康・栄養システム学会理事, 第 18 回日本健康・栄養システム学会事務局長 (6 月 23, 24 日. 神奈川県立保健福祉大学)
- 2) 日本栄養改善学会, 一般演題 (示説発表), 大和市における低栄養早期予防のための訪問栄養相談の取組み, 第 65 回日本栄養改善学会学術総会 (2018 年 9 月 4, 5 日. 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター)

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 厚生労働省保険局高齢医療課「高齢者の保健事業のあり方に関する研究」ワーキンググループ作業チーム員
- 2) 厚生労働省健康局 管理栄養士国家試験出題基準 (ガイドライン) 改定検討会委員
- 3) 厚生労働省健康局 栄養ケア活動支援整備事業評価委員

- 4) 厚生労働省老健局・保険局「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する有識者会議」構成員
- 5) 神奈川県介護予防市町村支援委員会専門部会委員
- 6) 神奈川県介護予防ワーキンググループ委員

6. 学内教育活動

- 1) 栄養管理概論、保健医療福祉論Ⅰ、栄養教育各論Ⅰ、応用栄養学Ⅱ、学校教諭論、食教育実践論、総合演習（栄養教諭）、栄養教育実習、教職実践演習（栄養教諭）、栄養ケア・マネジメント特論・栄養ケア・マネジメント演習・実習、栄養ケア・マネジメント課程（実践教育センター）
- 2) 卒業論文指導：地域高齢者の栄養ケア・マネジメント等に関する研究指導補助等 2名
- 3) 修士論文指導：修士課程 1名研究指導補助

7. 学内各種委員会活動

- 1) 2018.4~2019.3. 地域貢献研究センター地域貢献部門副部門長

8. 社会貢献

- 1) 横須賀市栄養士連絡協議会に関わる栄養士勉強会の支援
- 2) 県内行政栄養士に関わる勉強会の支援
- 3) 大学と大和市の保健事業に関する連携協定

9. 講演，放送

- 1) 横須賀地区栄養士連絡協議会講師（2018年5月）
- 2) 厚生労働省 市町村を対象とするセミナー講師（2018年6月、10月）
- 3) 目黒区介護予防栄養講演会講師（2018年6月）
- 4) 日本健康・栄養システム学会 臨床栄養師研修講師（2018年8月）
- 5) 松江市健康部研修会講師（2018年8月）
- 6) 福井県栄養士会在宅栄養管理指導研修センター委託事業研修会講師（2018年10月）
- 7) 千葉県栄養士会研修講師（2018年10月）
- 8) 横須賀市生涯現役フォーラム講師（2018年11月）
- 9) 岩手県栄養士会 岩手県行政栄養士研修講師（2018年12月）
- 10) あいち健康の森健康科学総合センター健康づくり指導者セミナー講師（2018年11月）
- 11) 愛媛県保健福祉部研修会講師（2018年12月）
- 12) 国民健康保険中央会 保健師研修会講師（2018年12月，2019年1月）
- 13) 岡山県保健福祉部 公衆衛生関係栄養士研修会講師（2019年1月）
- 14) 岐阜県健康福祉部 行政栄養士専門研修講師（2019年2月）
- 15) 愛知県健康福祉部 保健所及び市町村等栄養担当者合同研修会講師（2019年2月）
- 16) 宮崎県栄養士会 行政栄養士研修会講師（2019年2月）
- 17) 厚木保健福祉事務所 厚木市食生活支援講師（2019年3月）
- 18) 大和市スキルアップ研修会講師（2019年3月）

19) 神奈川県介護予防従事者等研修（基礎編）講師（2019年3月）

10. 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 田中和美（研究協力）. 平成30年度厚労科研費補助金総合研究事業「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病を予防するための情報通信技術を活用した保健指導プログラム及びその実践のための手引きの作成と検証」（代表 春山早苗）※2018-20年

11. 学内研究助成金の受託

- 1) 高齢者の保健事業と介護予防における一体的な実施に関する研究 栄養学研究費、150千円、2018.7～2018.3

12. 受賞

- 1) 神奈川県公衆衛生協会，平成30年神奈川県公衆衛生協会研究奨励賞（協会賞）「効果的な特定保健指導の実施について」，第64回神奈川県公衆衛生協会学会（2018年11月21日，横浜情報文化センター）

外山 健二（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 外山健二（2018）. 3. 経腸栄養補給、4. 経静脈栄養補給. p41～49. 第3章. 栄養・食事療法、栄養補給法. 渡邊早苗、寺本房子、松崎政三編著. 三訂臨床栄養管理（第4版）建帛社. 東京
- 2) 外山健二（2018）2-5-3. 栄養管理プロセス実践の成果判定. 2-5. 栄養モニタリングと判定. 公益社団法人日本栄養士会監修. 木戸康博、中村丁次、小松龍史編. 栄養管理プロセス. 第一出版、東京.
- 3) 外山健二（2019）. 26章. 術前・術後、27章クリティカルケア. 国立研究開発法人医療基盤・健康・栄養研究所監修. 中村丁次、川島由起子、外山健二編. 健康科学シリーズ. 臨床栄養学改訂第3版、南江堂、東京。

4 学会等での活動

ポスター発表

- 1) Kenji Toyama, Ikuko Gomi, Michiko Sugiyama, Shinji Nakahara, Teiji Nakamura: Educational Support of Clinical-Nutrition Fields for Nutrition bachelor Course in Vietnam. The 7th Asian Congress of Dietetics. The Hong Kong Polytechnic University, 6-8 July 2018.
- 2) 筋力減少を伴う高齢者における味覚感受性と食欲状況及び健康意識に関する研究. 飯田綾香、倉貫早智、外山健二、中村丁次. 第65回日本栄養改善学会学術集会講演要旨集. P254. 於：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター. 新潟 2018.9.3.～9.5. 座長
- 1) 第65回日本栄養改善学会学術集会. 生活習慣病2
- 2) 第34回日本静脈経腸栄養学会学術総会栄養士・管理栄養士部会パネルディスカッション. がん患者の栄養管理ー管理栄養士の視点から
- 3) 第34回日本静脈経腸栄養学会学術総会ポスター. 高齢者の栄養管理

5 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 日本静脈経腸栄養学会代議員 2015.4.～（現在に至る）
日本静脈経腸栄養学会ガイドライン作成委員会委員 2015.4.～（現在に至る）
- 2) 日本栄養改善学会評議員. 2002.4.～（現在に至る）
日本栄養改善学会雑誌の栄養学雑誌の編集委員会委員. 2015.11.～（現在に至る）
- 3) 日本臨床栄養学会評議員. 2002.4.～（現在に至る）
- 4) 日本食育学会 日本食育学会誌編集委員会副委員長. 2017.4.～（現在に至る）
- 5) 公益社団法人日本栄養士会. TNT-D 委員会委員. 2008.4. ～（現在に至る）
- 6) 公益財団法人 日本健康・栄養食品協会機能性表示食品における軽症者データ取扱いに関する調査・検討事業検討会委員会委員. 2018.4.～2019.3.

6 学内教育活動

- 1) 外山健二, 藤谷朝実, 徳永美希. 臨床栄養学実習Ⅰ. 通年
- 2) 外山健二, 中島 啓, 藤谷朝実, 長瀬香織, 樋口良子. 臨床栄養学実習Ⅱ.
- 3) 外山健二, 五味郁子. 臨床栄養学総論
- 4) 外山健二. 臨床栄養学各論Ⅱ.
- 5) 杉山みち子, 鈴木志保子, 外山健二, 佐野喜子, 藤谷朝実. 栄養管理学概論.
- 6) 鈴木志保子, 佐野喜子, 外山健二, 五味郁子. 健康科学概論
- 7) 外山健二, 中島 啓, 藤谷朝実, 五味郁子, 徳永美希, 長瀬香織. 臨床栄養学臨地実習Ⅰ.
- 8) 外山健二, 杉山みち子, 中島 啓, 藤谷 朝実, 五味郁子, 徳永美希, 長瀬香織. 臨床栄養学臨地実習Ⅱ.
- 9) 卒業研究にて4年生3名を指導した.
- 10) 大学院前期専門科目 中村丁次, 中島 啓, 外山健二. 人間栄養学.
- 11) 大学院前期専門科目 中村丁次, 中島 啓, 外山健二. 臨床栄養学特論.
- 12) 実践教育センター. 栄養ケア・マネジメント課程必修科目. 臨床栄養実践活動論において, 経腸栄養法について講義を行った(8時間). 2017.6.24.
- 13) 実践教育センター. 栄養ケア・マネジメント課程必修科目. 臨床栄養活動論において, 事例検討演習を行った(4時間). 2017.8.26.
- 14) 実践教育センター. 栄養ケア・マネジメント課程選択科目. 栄養ケア・マネジメントの展開2において実践病態栄養学について講義を行った(8時間). 2017.10.28.
- 15) 実践教育センター. 栄養ケア・マネジメント課程. 栄養ケア・マネジメント課程 栄養ケア・マネジメントの展開1(品質改善活動)最終発表(8時間). 2016.12.9.
- 16) 神奈川県政策研修員として来日した、ベトナム国ハノイ医科大学講師のグエン・クアン・ドゥン氏の神奈川県内の医療施設での研修援助を行った. 2019.2.26～2.27.

7 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会委員 2015.4.～現在に至る

9 講演, 放送

- 1) 平成30年度 日本栄養士会 TNT-D 研修会スキルアップ研修会東京会場 講師 川崎医療福祉大学. 2018.5.19～5.20.
- 2) 第18回日本栄養ケア・マネジメント学会ランチョンセミナー. 「アジアにおける栄養教育支援と栄養士制度づくり」. 平成30年6月24日(日). 於: 神奈川県立保健福祉大学.
- 3) 平成30年度公益社団法人日本栄養士会. 栄養サポートチーム担当者研修会講師. 栄養法の選択(経口栄養・経腸栄養・静脈栄養)、栄養管理計画の基本. 平成30年8月24日. 於: 昭和女子大学
- 3) 未来健康共生社会研究会 第11回公開シンポジウム. ベトナム国医療機関における栄養ケア・マネジメント構築支援と機能性食品への期待. 平成30年9月2日. 於: 東京大学

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 中村丁次、外山健二、杉山みち子、五味郁子、藤谷朝実、中島啓、高田健人、中原慎二、山本茂．科学研究費補助金．基盤 B（一般）：ベトナム国医療施設における栄養不良の二重負荷と栄養管理システムの実態．500 万円．2018.4. ～2019.3.

中島 啓 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 「臨床医学－人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」第4章 栄養障害と代謝異常 (飢餓、たんぱく質・エネルギー栄養障害、悪液質、ビタミン欠乏症/過剰症、ミネラル欠乏症/過剰症、肥満・メタボリックシンドローム、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症) (計 41 ページ) 南江堂

2 学術論文

- 1) Nakajima K, Higuchi R, Iwane T, Shibata M, Takada K, Sugiyama M, Matsuda M, Nakamura T. High incidence of diabetes in people with extremely high HDL cholesterol: Results of the Kanagawa Investigation of Total Checkup Data from the National Database-1 (KITCHEN-1). *Journal of Clinical Medicine*. 2019;8(3). pii: E381.
- 2) Nakajima K, Iwane T, Higuchi R, Shibata M, Takada K, Uda J, Anan M, Sugiyama M, Nakamura T. The Kanagawa investigation of the total checkup data from the national database (KITCHEN): Protocol for data-driven population-based repeated cross-sectional and 6-year cohort studies. *BMJ Open* 2019;9(2):e023323
- 3) Nakajima K. Unhealthy eating habits around sleep and sleep duration: To eat or fast? *World J Diabetes* 2018;9:190-194.
- 4) Higuchi R, Iwane T, Suwa K, Nakajima K. Adjustment for waist circumference Reveals a U-shaped association between HbA1c and body mass index in young adults. *Canadian Journal of Diabetes* 2018:S1499-2671(17)31057-2.
- 5) Shibata M, Iwane T, Higuchi R, Suwa K, Nakajima K. Potential common factors associated with predisposition to common cold in middle-aged and elderly Japanese: A community-based cross-sectional study. *Medicine*. 2018;97:e10729.

3 学会発表

1. 柴田 みち, 阿南 真未, 岩根 泰蔵, 樋口 良子, 杉山 みち子, 中村 丁次, 中島 啓
高齢者のやせにおける血清 Aspartate aminotransferase 高値の意義 特定健診受診者 150 万人の横断研究 日本臨床栄養学会第 40 回総会
2. 樋口良子, 田中 琴音, 岩根 泰蔵, 諏訪 要, 中島 啓 若年成人の低体重における糖代謝異常と腹囲による調整の意義 日本臨床栄養学会第 40 回総会
3. 阿南真未, 柴田 みち, 岩根 泰蔵, 樋口 良子, 杉山 みち子, 中村 丁次, 中島 啓
就寝前夕食・朝食欠食と糖尿病との関連について 特定健診受診者を対象とした 6 年間後方視的コホート研究 日本臨床栄養学会第 40 回総会
4. 田中 琴音, 岩根 泰蔵, 樋口 良子, 中島 啓 胃部自覚症状と中耳炎既往・聴力損失の関連 健康診断受診者 7 万人の横断研究 日本臨床栄養学会第 40 回総会

5. 中島 啓 シンポジウム 健康情報の共有化とリテラシー向上 健診・レセプトデータ等を有効活用するために 日本栄養ケア・システム学会
6. 中島 啓、岩根 泰蔵、樋口 良子、柴田 みち、杉山 みち子、中村 丁次 著明な高HDL-Cは糖尿病の危険因子（又はマーカー）となる 日本疫学会第29回総会
7. 中島 啓 座長 第40回日本臨床栄養学会総会 一般演題5糖尿病①

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本内科学会（認定医・総合内科専門医）
- 2) 日本肥満学会（肥満症専門医）
- 3) 日本動脈硬化学会（評議員）
- 4) 日本臨床栄養学会（評議員、臨床栄養指導医）、学会誌編集委員
- 5) 日本病態栄養学会
- 6) 日本臨床栄養協会（評議員）
- 7) 日本栄養食糧学会 学会誌編集委員、倫理審査委員、JNSV 編集委員
- 8) 日本糖尿病学会
- 9) 日本糖尿病協会（療養指導医）
- 10) 日本循環器学会
- 11) 日本未病システム学会
- 12) 日本疫学会（社会医学系専門医・指導医）
- 13) 日本栄養ケア・システム学会
- 14) 日本臨床疫学会
- 15) Journal of Clinical Medicine, Endocrinology/Metabolism, Editorial board member
- 16) Medicine (Wolters Kluwer), Editorial board member
- 17) World Journal of Diabetes, Editorial board member
- 18) 管理栄養士国家試験委員

5 学内教育活動

- 1) 臨床医学概論
- 2) 臨床検査学概論
- 3) 臨床栄養学各論 I
- 4) 臨床栄養学実習 II
- 5) 救急・救命学
- 6) 公衆衛生学 I
- 7) 人間栄養学特論
- 8) 臨床栄養学特論・演習
- 9) 保健福祉栄養評価論
- 10) 実践教育センター、栄養ケア・マネジメント課程症例検討
- 11) 卒業研究指導 4名
博士前期課程 1名 指導教員

博士後期課程 2名 指導教員

6 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営会議委員
- 2) 倫理審査委員会（副委員長）
- 3) 図書委員会（委員長）
- 4) 衛生委員会（衛生医）
- 5) ヘルスイノベーション研究科入試委員会

7 社会貢献

- 1) 埼玉医科大学総合医療センターにおける糖尿病・脂質異常症・肥満症等の外来診療

8 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1 公益社団法人米穀安定供給確保支援機構
アミラーゼの遺伝子多型と糖代謝およびエネルギー代謝特性との関係（研究代表者）
- 2 浦上食品・食文化振興財団 学術研究助成
「3種類の人工甘味料およびその甘味が糖代謝系に与える影響」（研究代表者）
- 3 ベトナム国医療施設における「栄養不良の二重負荷」と栄養管理システムの実態 科学研究費 基盤研究(B)（連携研究者）

9 その他

- ・神奈川県健康増進保健医療データ活用事業委託
- ・神奈川県後期高齢者医療連合との連携協定
- ・神奈川県大和市保健医療データ活用事業連携協定
- ・「Body Mass Index の継承と発展へ」臨床栄養学会雑誌 巻頭言 P6,7
- ・ラジオ日経 7月10日「人工甘味料」
- ・ドクターサロン「人工甘味料」2018 巻 P
- ・朝日新聞デジタル 9月22日 ののちゃんのDO科学 甘いのになぜ「カロリーゼロ」？
- ・行政管理栄養士勉強会 10月27日「大規模データから見た栄養政策の重要性」

山西 倫太郎 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) Mukai, Y., Yamanishi, R. Retinol but not retinoic acid can enhance the glutathione level, in a manner similar to β -carotene, in a murine cultured macrophage cell line. Food Science & Nutrition 2018; 6: 1650-1656.

3 その他の著作

- 1) 執筆協力：クエスチョンバンク管理栄養士国家試験問題解説 2019, MEDIC MEDIA 刊
- 2) 洋書翻訳：Modern Nutrition Health and Disease 第11版 (A.C. Ross, B. Caballero, R.J. Cousins, K.L. Tucker & T.R. Ziegler 編) の日本語版として出版された“ロス医療栄養科学大事典 健康と病気のしくみがわかる”(総監訳：稲垣暢也・中屋豊、西村書店 刊) の“第102章 食物アレルギーと不耐症”(p1074～p1087)

4 学会等での活動

- 1) 発表：「特定のビタミン B 群摂取条件下において実験食に添加される含硫アミノ酸と脂肪量の変化がマウス免疫系に及ぼす影響の検討」山西倫太郎、第72回日本栄養・食糧学会大会(於 岡山県立大学；岡山県総社市)一般講演 2018年5月13日
- 2) 発表：「レチノール及び β -カロテンは RAW264 細胞の抗酸化性を亢進するがレチノイン酸は関与しない」山西倫太郎、神奈川県立保健福祉大学平成30年度研究発表会

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本栄養・食糧学会 参与

6 学内教育活動

- 1) 食品学各論(必修科目)1年生. 2018.4～2018.9
- 2) 食品学総論(必修科目)1年生. 2018.10～2019.3
- 3) 食品機能学(選択科目)2年生. 2018.4～2018.9
- 4) 食品学実験1(必修科目)1年生. 2018.10～2019.3
- 5) 総合演習(必修科目)4年生. 2018.4～2018.9
- 6) 卒業研究(必修科目)4年生. 2018.4～2019.3
- 7) 栄養学科4年生(13期生)担任. 2018.4～2019.3
- 8) 大学入試当日業務.(センター試験)2019.1.19、(前期試験)2019.2.25、(後期試験)2019.3.12
- 9) 大学院1年生 ランチョンミーティング. 2018.6.9
- 10) 大学院最終学年生 イブニングミーティング. 2018.12.5
- 11) 大学院入試説明会. 2018.6.9
- 12) 大学院入試当日業務.(一次募集)2018.9.22、(二次募集)2019.2.28
- 13) 天秤室精密天秤管理. 2018.4～2019.3

7 学内各種委員会活動

- 1) 大学院保健福祉学研究科副研究科長. 2018.4～2019.3
- 2) 研究委員会研究助成部門委員. 2018.4～2019.3
- 3) 研究科運営会議委員. 2018.4～2019.3
- 4) 研究科入試委員. 2018.4～2019.3

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパスにおける栄養学科学生相談室の統轄. 2018.8.4
- 2) 神奈川県政策研修員として本学を訪問したベトナム人医師への講義（英語）.
2019.2.21

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 山西倫太郎（研究代表者）. 食生活の西洋化は体内システイン量への影響を介して生体機能を左右するか?, 日本学術振興会 科学技術研究費補助金・基盤研究（C）17K00925, 直接経費 700,000 円+間接経費 210,000 円, 2018.4～2019.3（2020.3 まで継続予定）

11 学内研究助成金の受託

- 1) ビタミンA（レチノール）のグルタチオン産生増強におけるレチノイン酸シグナル伝達障害の影響. 神奈川県立保健福祉大学 助成研究 B（奨励研究）, 総額 543,283 円, 2018.6～2019.3

14 その他

- 1) 大学院保健福祉学研究科副研究科長として、6 に挙げた教育活動や 7 に挙げた各種委員会以外に、研究科運営会議の事前打ち合わせ会議・研究科委員会の事前打ち合わせ会議への出席、入学式への出席および呼名、入学時オリエンテーションにおける説明、博士前期各領域の中間報告会・博士後期各院生の研究計画発表会&中間報告会への参加、大学院入試合否判定会議等への出席、修士論文発表会における進行役等、種々の業務を担当した。

倉貫 早智 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 倉貫早智, すべての診療科で役立つ栄養・食事療法―第5章 5 性差と栄養, p127-129, 羊土社, 2019.1.

2 学術論文

- 1) 檜野 いく子, 溝上 哲也, 由田 克士, 上西 一弘, 長谷川 祐子, 斉藤 裕子, 青柳 清治, 倉貫 早智, 中村 丁次. 栄養プロファイリングを用いた食品の評価日本栄養士会雑誌 61 (8) p445-450, 2018.8.
- 2) Watanabe D, Kuranuki S, Sunto A, Matsumoto N, Nakamura T. Daily Yogurt Consumption Improves Glucose Metabolism and Insulin Sensitivity in Young Nondiabetic Japanese Subjects with Type-2 Diabetes Risk Alleles. Nutrients. 10 (12) , 2018. 11.
- 3) 飯田 綾香, 倉貫 早智, 田中 芳明, 中村 強. 分岐鎖アミノ酸投与が NAFLD/NASH 病態モデルマウスの肝脂肪蓄積に及ぼす影響. 機能性食品と薬理栄養 12 (4) , p243-250, 2019.2.

3 その他の著作

- 1) 倉貫 早智, 管理栄養士の活動最前線 研究・教育機関 未病改善「栄養サポートステーション」の取り組み, 日本栄養士会雑誌 61 (5) , p260-261, 2018.05.

4 学会等での活動

- 1) 倉貫早智, 栄養機能食品、機能性表示食品の栄養学観点から見た活用, 日本食品工学会第19回年次大会, 2018.8
- 2) 飯田綾香, 倉貫早智, 外山健二, 中村丁次, 筋力減少を伴う高齢者における味覚感受性と食欲状況及び健康意識に関する研究, 第65回日本栄養改善学会学術総会, 2018.9.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本臨床栄養協会 評議委員 2018.4～2019.3.
- 2) 日本臨床栄養学会 「日本臨床栄養学会雑誌」編集委員 2018.4～2019.3
- 3) 日本臨床栄養学会評議員 2018.4～2019.3
- 4) 平成30年度農林水産物機能性評価委員会委員 2018.4～2019.3
- 5) 日本栄養士会 国際交流委員 2019.1～2019.3

6 学内教育活動

- 1) 栄養学科必修科目「基礎栄養学, 基礎栄養学実験, 生化学Ⅰ, 生化学Ⅱ, 生化学実験」の担当を行った. 2018.4～2019.3

- 2) 看護学科科目（栄養学）をオムニバスで担当した。2018.4～2019.3
- 3) 実践教育センター「平成30年度教員免許状更新講習会」で「子どもの食育」を担当した。2018.7.
- 4) 実践教育センター「栄養ケア・マネジメント課程」の開講科目（臨床栄養実践活動論）を一部担当した。2018.9.
- 5) 卒論研究（4年次学生4名）および修士論文作成にかかわる研究（大学院博士前期課程1名）の指導を行った。2018.4～2019.3.
- 6) 平成30年度チューターを担当した。2018.4～2019.3.

7 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会委員 2017.4～2018.3.

8 社会貢献

- 1) 未病を治す取り組みとして、「未病サポートセンター」システムの構築および業務品質向上のための提案を行った。
- 2) 味の素株式会社との本学（学生）との連携企画である「ラブベジ（野菜レシピ）」の取りまとめに参画した。
- 3) 神奈川県住宅供給公社との連携事業の一つであるヴェンテージヴィラ相模原で実施されたイベントに参画した。

9 講演、放送

- 1) 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校にて出張講義を行った。2018.4.
- 2) 横浜市瀬谷区給食施設栄養管理研修会にて講師を担当した。2019.2.

12 受賞

- 1) 「第2回食育活動表彰」農林水産大臣賞を受賞。メンバーの一人として受賞内容の食育活動にかかわった。

五味 郁子（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 五味郁子．第 3 章栄養ケア・マネジメント、第 5 章栄養ケア計画と実施、第 8 章モニタリングと評価．中村丁次、川島由起子、外山健二編集．臨床栄養学改訂第 3 版．南江堂、2019.3.31.

2 学術論文

- 1) 五味郁子、住野亜衣、松田園子、鳥羽麻比、徳永美希：神奈川県 A 市在住高齢者における買物困難感と食品アクセスの関連．神奈川県立保健福祉大学誌 16(1);77-85.
- 2) 五味郁子：健康体操教室参加高齢者の血清アルブミン値および BMI の変化：15 年縦断調査、個々の最新アルブミンデータによる比較．平成 30 年度高齢者における健康維持増進のための総合的 pursuit 研究報告書（研究代表者 松尾祐子）pp15-18. 2019 年 3 月.

3 その他の著作

- 1) 五味郁子：からだにやさしい食事づくりー新米がうまい！ー．横浜市医師会「みんなの健康」（268）11・12 月号、2018 年 11 月
- 2) 五味郁子：嗜好飲料（アルコール飲料を除く）．健康増進総合支援システム（e-ヘルスネット）.2019 年 3 月.
- 3) 五味郁子：三浦在住高齢者のための食生活サポートナビ 2（<http://shoku-support2.com>）．科研費事業により開発作成．2019 年 1 月.

4 学会等での活動

- 1) Kenji Toyama, Ikuko Gomi, Michiko Sugiyama, Shinji Nakahara, Teiji Nakamura. Educational support of clinical-nutrition Fields for Nutrition bachelor course in Vietnam. 7th Asian Congress of Dietetics. Hong Kong, 2018.6.6-8.
- 2) 五味郁子、住野亜衣、松田園子、鳥羽麻比、徳永美希．神奈川県 A 市在住高齢者の買物困難感と食品アクセス、食品摂取状況との関連．第 65 回日本栄養改善学会（新潟）、2018.9.4.
- 3) 五味郁子、外山健二、藤谷朝実、他．臨床栄養学臨地実習のマネジメント．第 7 回日本栄養学教育学会（新潟）、2018.9.2.

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 神奈川県栄養士会 研究教育事業部 役員
- 2) 神奈川県栄養士会 在宅栄養ケア推進事業 委員

6 学内教育活動

- 1) 学部：栄養管理学概論、健康科学概論、応用栄養学Ⅰ、栄養教育各論Ⅱ、栄養教育論実習、臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ、栄養学（看護学科）、在宅看護学（看護学科、ゲストスピーカー）
- 2) 大学院研究科：栄養ケア・マネジメント特論演習（前期課程）、保健福祉栄養評価演習（後期課程）
- 3) 実践教育センター（栄養ケア・マネジメント課程）：栄養ケア・マネジメントの展開Ⅰ 栄養評価、最終発表、ヒューマンサービス論演習多職種協働

7 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会 2018.4～2019.3
- 2) 進路支援ワーキンググループ 2018.4～2019.3
- 3) 栄養学科臨地実習ワーキンググループ 2018.4～2019.3

8 社会貢献

- 1) 五味郁子、神奈川県立保健福祉大学説明会（高校生向け）における模擬授業。2018.7.14.
- 2) 五味郁子、横須賀・三浦ブロック老人クラブ連絡協議会 平成30年度ゆめクラブ大学、プログラム調整および講師。於神奈川県立保健福祉大学、2018.10.25.
- 3) 五味郁子、横浜市立東高等学校における模擬授業。2018.11.19.
- 4) 五味郁子、慶應義塾大学看護医療学部公衆衛生看護活動論における授業。2018.12.17.
- 5) 外山健二、五味郁子、藤谷朝実、杉山みち子、神奈川県国際課事業政策研修員（ベトナムハノイ医科大学栄養医）の受入れ、プログラム調整担当、引率等。2018.10～2019.3

9 講演・放送

- 1) 五味郁子、神奈川県歯科医師会主催 平成30年度食力研修会「今、食力を考える～食べることから健康寿命を伸ばす～」講演、シンポジスト。神奈川県歯科医師会館、2018.9.27.
- 2) 五味郁子、日本健康・栄養システム学会 臨床栄養士研修「栄養教育（保健指導）」講師。於相模女子大学、2018.10.14.
- 3) 五味郁子、日本栄養士会 平成30年度研究教育事業部全国リーダー研修会講師「学生の実践能力を高める臨床栄養学臨地実習システム構築のとりくみ」。於東京聖栄大学、2019.2.24.
- 4) 五味郁子、小田原保健福祉事務所 平成30年度地域保健活動推進研修会講師。於小田原合同庁舎、2019.2.19.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 五味郁子（研究代表者）. 地域高齢者のための食生活サポートネットワークの構築に関する研究. 平成 30 年度科学研究費助成事業 若手研究 (B)、2,700 千円.
2014.4～2019.3.31.
- 2) 中村丁次、外山健二、五味郁子、杉山みち子、中島啓、藤谷朝実、高田健人、山本茂、中原慎二、向井友花. ベトナム国医療施設における「栄養不良の二重負荷」と栄養管理システムの実態. 平成 30 年度科学研究費助成事業 基盤研究 B、7,670 千円（分担金：学内研究者で一括 5,650 千円）、2017.4～2021.3.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 松尾祐子、福田平、五味郁子、渡部月子. 高齢者における疫学的健康調査、神奈川県立保健福祉大学研究助成 A（協働研究）469,380 円、2018.4～2019.3.

12 受賞

- 1) 五味郁子. (公社) 神奈川県栄養士会会長表彰「優良栄養士」. 2018.5.24.

藤谷 朝実 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 子どもの「食べる楽しみ」を支援する (共著) 日本健康栄養システム学会編 藤谷朝実、堤ちはる、杉山みち子、小山秀夫編集 (2018) 東京 建帛社
- 2) 小児臨床栄養学 (分担) 日本小児栄養肝臓消化器学会編 (2018) 東京 診断と医学社

2 学術論文

Mariko Higa, Yukie Fuse, Naoko Miyashita, Asami Fujitani, Kaoru Yamashita, Takamasa Ichijo, Seiichiro Aoe, Takahisa Hirose, Effect of High β -glucan Barley on Postprandial Blood Glucose Levels in Subjects with Normal Glucose Tolerance: Assessment by Meal Tolerance Test and Continuous Glucose Monitoring System, Clin Nutr Res. 2019 Jan;8(1):e4, pISSN 2287-3732 eISSN 2287-3740

4 学会等での活動

- 1) 第18回日本栄養・健康システム学会の副大会長 2018年6月22日 - 24日神奈川県立保健福祉大学 (横須賀)
- 2) 藤谷朝実 リレー発表「次世代につなぐ地域・医療・介護の栄養ケア・マネジメントとその実践」座長 第18回日本栄養・健康システム学会 2018年6月24日
- 3) 川田奈津美、藤谷朝実 BDHQの結果から見た糖尿病患者の食事・栄養摂取状況の検討 第18回日本健康・栄養システム学会 2018年6月23日
- 4) 渡邊成美、齊田真理、藤谷朝実、BDHQ_{3y}を用いた幼児の食事・栄養摂取量に関する検討～5-6歳を対象とした横浜市の調査結果から～、第18回日本健康・栄養システム学会 2018年6月23日
- 5) 川田奈津美、藤谷朝実、BDHQの結果から見た糖尿病患者の食事・栄養摂取状況の検討 第22回日本病態栄養学会
- 6) 大比良朗子、藤谷朝実、小児胃・腸疾患児に対する成長段階に応じた適正なエネルギー補給に関する検討 第22回日本病態栄養学会

5 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 日本健康栄養システム学会 理事 (2016年4月～現在)
- 2) 日本臨床栄養協会・日本臨床栄養学会中心となった委員会 (他7学会が共同参加) 小児専門栄養士設立委員 (2016年12月～現在)
- 3) ウィルソン病患者会 子ども会 WILDREN 運営委員: ウィルソン病患者会の一つとして2009年に東部病院の医師・看護師・CLSが中心となって設立した会であり、その中で管理栄養士として助言並びに会の運営のサポートを行っている。(2009年6月～現在)
- 4) 日本静脈経腸栄養学会国際委員 LLLWG (2017年4月～現在)

6 学内教育活動

- 1) 栄養学科 4 年生 4 名に対し卒業研究並びに論文作成指導を行った。
- 2) 栄養学科 2 年生に対し、調理学実習の授業並びに教材作成を行った。毎回提出されるレポートの確認を行い、実習の習得度や理解について評価並びに不足についてはコメント等で補完した。(2018 年 4 月～7 月)
- 3) 栄養学科 1 年生に対し、調理学の授業を行い授業に必要な教材作成を行った。(2018 年 10 月～2019 年 1 月)
- 4) 栄養学科学生に対し、比較食文化論の授業・並びに教材作成を行った。(2018 年 4 月～5 月)
- 5) 臨床栄養実践調理学研究室に所属する 3、4 年生のゼミ生 8 名に対して、原則として毎週月曜日に文献抄読を中心とした学習を行った (2018 年 4 月～2019 年 3 月)
- 6) 大学院修士課程の学生 (林純平) に対し、倉貫早智指導准教授の副指導員として研究指導並びに論文指導を行った (2017 年 4 月～現在に至る)
- 7) 栄養学科一年生に対し、栄養管理概論として「病院における管理栄養士の役割」について講義を行った。(2018 年 6 月 28 日)
- 8) 大学院修士課程 1 年生に対し、「コンサルテーション論」講義・教材作成を行った(2018 年 7 月 7 日)
- 9) 大学院修士課程 1 年生に対し、「病院における NCM について」講義・教材作成を行った (2018 年 7 月 24 日)
- 10) 栄養学科 3、4 年生の臨床栄養臨地実習に際し、実習施設を訪問し巡回指導を行った
- 11) オープンキャンパス時に調理の授業に関する説明を行うとともに授業風景の様子を展示した
- 12) うみかぜ祭開催に当たって、提供する食事や衛生管理について助言を行った。
- 13) 栄養学科 3 年生の臨床栄養学実習Ⅱの授業において、外山教授の補助として学生指導を行った。(2018 年 10 月～2019 年 1 月)
- 14) 栄養学科 3 年生の担任として必要に応じて生活指導等実施した。
- 15) 栄養学科 3 年生に対し、応用栄養学実習として、調乳・離乳食の実際について授業・教材作成を行った (2018 年 10 月 20 日)
- 16) 栄養学科 3 年生に対し、栄養教育論総論として母子栄養並びに障害者栄養教育論について講義並びに教材を作成した (2018 年 5 月 10 日)
- 17) 栄養学科 3 年生に対し、栄養教育論各論として妊娠・出産・乳児期の栄養教育について講義並びに教材を作成した (2018 年 1 月 8 日、15 日、22 日)
- 18) 大学センター入試において試験監督を行った。

7 学内各種委員会活動

- 1) 国際協働委員会 (2016 年 5 月～現在に至る)
- 2) 医療保健福祉論タスクフォース委員 (2016 年 5 月～現在に至る)
- 3) 実習センター委員 (2017 年 4 月～現在に至る)
- 4) 臨地実習ワーキンググループ委員 (2016 年 5 月～現在に至る)

8 社会貢献

- 1) JICA のシニアボランティアとしてハノイ医科大学病院、Se,Paul 病院などの栄養管理に関するアドバイス並びに患者教育を実施した(3月26日 - 4月10日、8月27日 - 9月20日)
- 2) 日本健康栄養システム学会主催の臨床栄養師資格取得に向けての勉強会で低栄養の機序並びに栄養管理の方法等症例を通して講義・教材の作成(6月10日)
- 3) 神奈川県立実践教育センターの栄養ケア・マネジメント課程において、栄養ケア・マネジメントの展開(品質改善活動)に関する受講生の指導を行った。
- 4) 神奈川県立実践教育センターの栄養ケア・マネジメント課程においてヒューマンサービスを高める事例検討に関する受講生の指導を行った。
- 5) 神奈川県立実践教育センターの栄養ケア・マネジメント課程において、臨床検査並びに静脈栄養法について講義並びに教材作成を行った。
- 6) 神奈川県立実践教育センターのこどもの食育支援研修において、小児と成長と栄養について講義並びに教材作成を行った。
- 7) 神奈川県政策研修の一環として来日された Hanoi 医科大学病院の栄養医 (Dr.Dong) の神奈川県内の病院等で実施される研修に同行し、サポートを行った。(2019年2月～3月)
- 8) 済生会横浜市東部病院において毎週水曜日の PNST (小児科 NST) に参加し、小児期の栄養管理に関する助言サポートを行った(2018年4月～2019年3月)
- 9) 済生会横浜市東部病院において金曜日の午後、小児消化器専門外来の一環として小児代謝障害、肝疾患を中心とした栄養相談を行った(2018年4月～2019年3月)
- 10) たくこどもクリニック(神奈川県川崎市柿生)において月一回土曜日に成長障害や食事摂取に問題がある子ども・ご家族の栄養相談を行った(2018年4月～2019年3月)
- 11) たくこどもクリニックにおいて月1回離乳食教室を開催した(2018年4月～2019年3月)
- 12) 千葉県立医療保健大学において、障害児・者の栄養管理について講義・教材作成を行った(2018年12月～2019年2月)
- 13) ESPEN LLL topic20-1 “Nutrients in the prevention of cardiovascular diseases”, 20-2 “Nutrition in the Prevention of Osteoporosis” の講義(2018年3月17日)

9 講演、放送

- 1) 「便秘にならないための食事、便秘の時の食事」済生会横浜市東部病院市民公開講座「便秘にならないのがいいけれど、便秘になったらどうするの?」2018年5月20日
- 2) 「Postgraduate learning～To keep motivation and knowledge～」Hanoi medical University 4th/April 2018 Hanoi Viet Nam
- 3) 「What is Nutrition care in a hospital?」St,Paul Hospital 3th/April 2018 Hanoi Viet Nam
- 4) 「糖尿病に対する食事管理～治療目的から糖尿病食を再考する～」日本メディカル協

- 会 栄養士部会研修会 松山、仙台、名古屋、大阪、東京、札幌での講演 (2018年6月8, 11, 15, 18, 29日 11月8日)
- 5) 「Nutrition care for Breast Cancer~ To know your appropriate weight and Let's keep your good weight」 National cancer hospital Vietnam 7th/Sep.2018, Education for patients
 - 6) 「Case study of Diabetes ~ Don't miss corner stone of nutritional intervention for patients with Diabetes Mellitus~ 」 Hanoi medical University 13th/September 2018 Hanoi Viet Nam
 - 7) 「Chuyên gia dinh dưỡng nên làm gì trong bệnh viện?~What should we do in the ward?~」 St.Paul Hospital 18th/ Sep. 2018 Hanoi Viet Nam
 - 8) 「シトルリン欠損症の子供たちの食事」シトルリン血症患者会 済生会横浜市東部病院 2018年9月23日
 - 9) 「障害児者施設における栄養ケア・マネジメント」横浜市健康福祉局障害支援課主催 栄養ケア・マネジメント研修 2018年9月26日
 - 10) 「個人を対象とした栄養指導」神奈川県栄養士会生涯研修 2018年11月18日
 - 11) 「子どもの栄養の重要性~思春期の栄養障害の二重負荷から子どもの栄養を考える~」藤沢保健所 食育担当研修会 2018年11月27日
 - 12) 「特別な配慮を必要とする子供のための栄養ケア・マネジメントの実際」日本健康・栄養システム学会研修会 2019年3月3日
 - 13) 「Glutamine supplementation is good effect for ICU patients or cancer patients.Ture or Not?」 Hanoi medical University 26th/March 2019 Viet Nam
- 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託
- 1) 中村丁次、外山健二、杉山みち子、中島啓、五味郁子、藤谷朝実、高田健人、中原慎二、山本茂、松本菜々、 ベトナム国 医療施設における「栄養不良の二重負荷」と栄養管理システムの実態 平成 29 年度科学研究費助成基盤 B
 - 2) 大和田浩子、杉山みち子、藤谷朝実、川畑明日香、島貫夏実、迫和子、下浦佳之、赤枝いつみ、加藤すみ子、阿部絹子、富田文代、石倉知美、紺野裕子、障害者支援施設及び福祉型障害児入所施設における栄養ケア・マネジメントのあり方に関する検討事業:施設訪問インタビュー調査、(公社)日本栄養士会平成 30 年度政策事業 研究費
 - 3) 中村 丁次、大和田 浩子、藤谷 朝実、笹田 哲、田村文誉、行實 志都子、杉山みち子、高田 健人、飯田綾香、障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の検証等のための研究、厚生労働 科学研究 費補助金 (障害者政策総合研究事業 (身体・知的等障害))
 - 4) JICA 短期シニアボランティア支援 ハノイ医科大学病院における NCM システムの構築

向井 友花 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) Mukai, Y., Yamanishi, R. Retinol but not retinoic acid can enhance the glutathione level, in a manner similar to β -carotene, in a murine cultured macrophage cell line. *Food Science & Nutrition* 2018; 6: 1650-1656.
- 2) Sato, S., Kataoka, S., Sato, M., Takahashi, A., Norikura, T., Mukai, Y. Effect of bangle (*Zingiber purpureum*) extract and low-intensity exercise on mTOR phosphorylation and autophagy flux in skeletal muscles of rats on a high-fat diet. *Journal of Functional Foods* 2018; 47: 554-561.

3 その他の著作

- 1) レビューブック管理栄養士 2019. 監修. MEDIC MEDIA. 2018年7月18日発行.
- 2) クエスチョンバンク管理栄養士国家試験問題解説 2019. 解説執筆. MEDIC MEDIA. 2018年7月19日発行.

4 学会等での活動

- 1) 向井友花, 佐藤伸. タカキビ抽出物が糖尿病ラットの脂質代謝と肝臓へのマクロファージ浸潤に及ぼす影響. 第72回日本栄養・食糧学会大会, 2018年5月11-13日, 岡山.
- 2) 戸巻理奈, 林和佳奈, 菅野萌, 對馬和, 向井友花, 佐藤伸. 胎生期乳児期に低蛋白食に曝された仔ラットの過剰果糖負荷による肝臓の炎症細胞に及ぼすケルセチンの影響. 第65回日本栄養改善学会学術総会, 2018年9月3-5日, 新潟.
- 3) 菅野萌, 戸巻理奈, 林和佳奈, 對馬和, 向井友花, 佐藤伸. 胎生期乳児期に低蛋白食に曝された雌性仔ラットの離乳後の骨格筋組織に及ぼす過剰果糖液摂取の影響. 第65回日本栄養改善学会学術総会, 2018年9月3-5日, 新潟.
- 4) 林和佳奈, 戸巻理奈, 菅野萌, 對馬和, 向井友花, 佐藤伸. ケルセチンは胎生期・乳児期に低栄養に曝された仔ラットの果糖負荷による腎障害を軽減する. 第65回日本栄養改善学会学術総会, 2018年9月3-5日, 新潟.
- 5) 對馬和, 向井友花, 片岡沙織, 乗鞍敏夫, 佐藤伸. 高脂肪食摂取ラットの腎障害に及ぼすジャワショウガ抽出物並びに運動負荷併用の影響. 第65回日本栄養改善学会学術総会, 2018年9月3-5日, 新潟.
- 6) 戸巻理奈, 林和佳奈, 菅野萌, 對馬和, 向井友花, 佐藤伸. ケルセチンは胎生期乳児期に低蛋白質食に曝された雌性仔ラットの過剰フルクトース負荷による肝障害を軽減する. 青森県保健医療福祉研究発表会, 2018年12月8日, 青森.
- 7) 菅野萌, 戸巻理奈, 林和佳奈, 對馬和, 向井友花, 佐藤伸. 胎生期乳児期に低栄養に曝された雌性仔ラットの離乳後の過剰果糖負荷による骨格筋中の炎症細胞に及ぼす影響. 青森県保健医療福祉研究発表会, 2018年12月8日, 青森.
- 8) 林和佳奈, 戸巻里奈, 菅野萌, 對馬和, 向井友花, 佐藤伸. 胎生期乳児期に低蛋白食

に曝された仔ラットの過剰果糖負荷による腎臓の線維化及びマクロファージの浸潤に及ぼすケルセチンの影響. 青森県保健医療福祉研究発表会, 2018年12月8日, 青森.

- 9) 對馬和, 向井友花, 片岡 沙織, 乗鞍敏夫, 佐藤伸. 高脂肪食摂取ラットの血漿インスリン濃度及び腎臓中 Akt 活性に及ぼすジャワショウガ並びに運動負荷の影響. 青森県保健医療福祉研究発表会, 2018年12月8日, 青森.

6 学内教育活動

- 1) 学部担当科目:

食品衛生学, 食品衛生学実験, 総合演習 (栄養教諭), 前期.

食品加工学, 食品学実験Ⅱ, 外書購読, 後期.

総合演習 (ゼミ), 卒業研究 (担当4年4名, 3年4名), 通年.

- 2) 大学院研究科担当科目: 食品機能学特論, 栄養実践活動調査研究特論演習, 食品健康科学特論. (開講なし)
- 3) 大学院研究科 栄養学特別研究 (修士1年1名) 指導教員, 後期.
- 4) 管理栄養士国家試験対策特別講義, 2019年1月30日・2月13日.
- 5) 栄養学科16期生 (1年次) 担任, 通年.
- 6) 留学生生活支援, 2018年9月27日～継続.
- 7) うみかぜ祭 実行委員会・16期生アドバイス, 2018年5月～11月.

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会 副委員長 (大学誌編集委員長), 通年.
- 2) 動物実験専門部会 委員, 通年.
- 3) 研究科入試委員会 委員, 通年.
- 4) 栄養学科高大接続ワーキンググループ, 通年.

8 社会貢献

- 1) 横浜市立金沢高校における系統別説明会. 2018年6月15日.
- 2) オープンキャンパス運営, 2018年8月4日.
- 3) JICA シニアボランティアとしてハノイ医科大学病院 (ベトナム) への派遣. 職種: 食品衛生. 2018年8月27日～9月20日.
- 4) 神奈川県立港北高校における出張講義 (模擬授業). 2018年11月15日.
- 5) ベトナムからの政策研究員への講義「The basics of sanitary management of food service facilities in Japan」, 2019年2月20日.

9 講演, 放送

- 1) 平成31年度科研費申請書作成に関する研修会, 科研費申請書作成のポイント(第2部)スピーカー. 「科研費申請 不採択&採択 体験談」. 2018年8月9日.
- 2) 平成30年度生涯教育研修会 講師. 「基本研修 衛生管理」. (公社) 神奈川県栄養士会, 2018年8月25日.

- 3) ベトナムの病院給食施設での研修会 講師。「To provide safe and secure meals to patients in Saint Paul Hospital/in Hanoi Medical University Hospital」. セントポール病院, 2018年9月6日. ハノイ医科大学病院, 2018年9月8日.
 - 4) ベトナムの病院での研修会 講師。「Food function is useful for more effective nutrition care. -An example of basic research for food function-」. ハノイ医科大学病院, 2018年9月13日. セントポール病院, 2018年9月19日.
 - 5) 平成30年度子どもの食育支援研修 講師。「安全安心な食事提供をめざして～食品衛生の基礎～微生物学の視点から～」. 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター, 2019年3月6日.
- 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託
- 1) 向井友花. 腸内細菌に注目した植物ポリフェノールによるイムノメタボリズム制御機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 3,400千円, 2018年4月～2021年3月.
 - 2) 佐藤伸, 向井友花, 乗鞍敏夫. 次世代の肥満予防を目指した発育初期のポリフェノール摂取効果の検証と分子機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 3,500千円 (平成30年度分担金 200千円), 2017年4月～2020年3月.
 - 3) 山西倫太郎, 向井友花. 食生活の西洋化は体内システイン量への影響を介して生体機能を左右するか?. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 3,500千円 (平成30年度分担金 91千円), 2017年4月～2020年3月.
 - 4) 中村丁次, 外山健二, 他. ベトナム国医療施設における「栄養不良の二重負荷」と栄養管理システムの実態. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 3,500千円 (連携研究者: 分担金なし), 2017年4月～2020年3月.

駿藤 晶子（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 駿藤晶子. ヘルシーダイアリー. 東京：日本栄養士会（2018）

2 学術論文

- 1) Watanabe D, Kuranuki S, Sunto A, Matsumoto N, Nakamura T. Daily yogurt consumption improves glucose metabolism and insulin sensitivity in young non-diabetic Japanese subjects who have type 2 diabetes.(2018) *Nutrients*.10

4 学会等での活動

- 1) 駿藤晶子、樋口良子、水澤香織. 給食経営管理論実習における学生の知識・技術到達度に及ぼす要因の検討（第2報）. 第14回日本給食経営管理学会（2018.11）

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本栄養学教育学会 幹事
- 2) 第65回日本栄養改善学会学術総会実行委員（広報・渉外担当）

6 学内教育活動

- 1) 駿藤晶子. 給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 2) 駿藤晶子, 樋口良子. 給食経営管理論実習
- 3) 駿藤晶子, 樋口良子. 給食経営管理論臨地実習
- 4) 駿藤晶子他. 実践教育センター 栄養ケア・マネジメント課程（ヒューマンサービスを高める事例検討）
- 5) 杉山みち子, 駿藤晶子他. 実践教育センター 栄養ケア・マネジメント課程（品質改善活動）
- 6) 駿藤晶子. 卒業論文研究の指導
- 7) 駿藤晶子. 大学院博士前期課程の研究指導補助

7 学内各種委員会活動

- 1) FD・SD委員会
- 2) 国家試験連絡担当
- 3) 時間割編成ワーキンググループ

8 社会貢献

- 1) 駿藤晶子. 高校への出張講義（模擬授業）. 神奈川県立戸塚高等学校（2018.11）

9 講演，放送

- 1) 駿藤晶子. 平成30年度 逗子市学校給食会総会における講演会 講師.（2018.6）

飯田 綾香

2 学術論文

- 1) 飯田綾香、倉貫早智、田中芳明、中村強. 分岐鎖アミノ酸投与が NAFLD/NASH 病態モデルマウスの肝脂肪蓄積に及ぼす影響. 機能性食品と薬理栄養 2019 ; 12(4) : 243-250.
- 2) 飯田綾香、舟木淳子、中村強. プロテアーゼ処理豆腐の単回投与による腸管吸収性. 福岡女子大学国際文理学部・大学院人間環境科学研究科紀要【人と環境】2019 ; 50 : 15-20.

4 学会等での活動

- 1) 飯田綾香、山下紗生、高橋怜子、中村強. NASH 病態モデル (STAM マウス) を用いた血清アミロイド A 蛋白の動態について. 第 72 回日本栄養・食糧学会(岡山). 2018.5.
- 2) 沈穎昇、飯田綾香、龍田幸奈、片野肇、平修、中村強. DHA の積極的投与が老化制御に及ぼす影響—SAMP8 を用いた検討—. 第 33 回老化促進モデルマウス (SAM) 学会学術大会 (静岡). 2018.7.
- 3) 飯田綾香、倉貫早智、外山健二、中村丁次. 筋力減少を伴う高齢者における味覚感受性と食欲状況及び健康意識に関する研究. 第 65 回日本栄養改善学会 (新潟). 2018.9.
- 4) 黒木光歩、飯田綾香、巴美樹、中村強. アデニン誘発性軽度腎障害モデルを用いた腎機能ならびに脂質代謝に及ぼす影響. 第 65 回日本栄養改善学会 (新潟). 2018.9.
- 5) 沈穎昇、飯田綾香、中村強. DHA の積極的投与が老化制御に及ぼす影響. 第 65 回日本栄養改善学会 (新潟). 2018.9.
- 6) 高橋実旺、飯田綾香、太田 雅規、中村強. TSOD マウスを用いた NASH 病態モデルの可能性、及び自発運動による発症予防効果. 第 65 回日本栄養改善学会 (新潟). 2018.9.

6 学内教育活動

【学部担当科目】

- 1) 倉貫早智、飯田綾香. 生化学実験 (必修). 2018.4～2018.8
- 2) 倉貫早智、飯田綾香. 基礎栄養学実験 (必修). 2018.10～2018.12
- 3) 田中和美、五味郁子、向井友花、飯田綾香. 総合演習 (栄養教諭課程). 2018.4～2018.8
- 4) 鈴木志保子、田中和美、飯田綾香. 教職実践演習 (栄養教諭課程). 2018.10～2019.1
- 5) 臼井正樹、高田健人、飯田綾香他. ヒューマンサービス総合演習 (必修). 事例検討ファシリテーター. 2018.1.8

【学部担当科目 (臨地実習)】

- 6) 田中和美、飯田綾香. 栄養教育実習 (栄養教諭課程). 2018.4～2019.3

【その他】

- 7) 長谷川江都子、飯田綾香. 実践教育センター「子どもの食育支援研修」. 運営支援. 2018.11～2019.3 (5 回)

- 8) 杉山みち子、佐野喜子、田中和美、五味郁子、藤谷朝実、駿藤晶子、高田健人、徳永美希、樋口良子、長瀬香織、飯田綾香、長谷川江都子. 栄養ケア・マネジメントの展開 1 品質改善活動 中間発表・最終発表
- 9) 国家試験対策講義. 2018.11～2019.1 (2回)

7 学内各種委員会活動

- 1) 栄養学科教務委員補佐.
- 2) 栄養学科予算委員会.
- 3) 栄養学科試薬管理担当者.

8 社会貢献

- 1) 飯田綾香. ヨコスカ調理製菓専門学校 非常勤講師 (食品学). 2018.4～2019.3
- 2) 飯田綾香. 食中毒と脱水 予防のための基礎知識. 平成 30 年度 第 1 回 介護職のための在宅療養セミナー (横須賀市主催).
- 3) 第 18 回日本健康・栄養システム学会 (神奈川県立保健福祉大学). 会場責任者. 2018.6
- 4) 佐野喜子、駿藤晶子、元島敦子、飯田綾香. これから栄養士になる人の集い (神奈川県栄養士養成施設). 運営
- 5) 栄養学科オープンキャンパス. 実験実習室ツアー・個別相談担当. 2018.8
- 6) 栄養学科ミニオープンキャンパス. 運営補助. 2019.3

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 中村強、飯田綾香. 腸内細菌叢と非アルコール性脂肪性肝炎の病態進展との関連に関する基礎的検討. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)、2017.4～2020.3
- 2) 高橋美旺、飯田綾香. TSOD マウス研究会 平成 30 年度研究助成. 2018.4～2019.3
- 3) 中島啓、岩根泰蔵、樋口良子、飯田綾香. 平成 30 年度ごはん食健康データベース整備事業研究・調査助成. 2018.8～2019
- 4) 中村丁次、大和田浩子、藤谷朝実、笹田哲、田村文誉、行實志都子、杉山みち子、高田健人、飯田綾香. 障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の検証等のための研究. 厚生労働科学研究費補助金、6,000 千円、2018.11～2020.3
- 5) 高田健人、樋口良子、飯田綾香、長瀬香織、徳永美希、藤川亜沙美、中島啓、杉山みち子、中村丁次. 神奈川県健康団地未病 (低栄養) 対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究 2016.4～2019.3

11 学内研究助成金の受託

- 1) 飯田綾香. 運動負荷による PGC-1 α の発現量増強と糖代謝促進による NASH 予防及び治療効果. 栄養学科研究費、150 千円、2018.6～2019.3

高田 健人

2 学術論文

- 1) 長瀬香織, 田中和美, 磯部壮一郎, 高田健人, 中原慎二, 市川政雄, 杉山みち子. (2018). 神奈川県 Y 市在住要支援高齢者の低栄養リスクと「料理・買い物状況」及び「地域とのつながり」との関係. 日本健康・栄養システム学会雑誌,17(2),31-41.
- 2) 松山紗奈江, 加藤昌彦, 榎裕美, 宇田淳, 高田和子, 大原里子, 遠又靖丈, 荻部康子, 堤亮介, 小山秀夫, 高田健人, 藤川亜沙美, 長瀬香織, 松本菜々, 杉山みち子. (2019). 介護保険施設における経口維持による看取り及び在宅復帰支援のための栄養ケア・マネジメントの関連要因についての横断的検証～特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設における全国調査より～. 日本健康・栄養システム学会雑誌,18(2),2-11.
- 3) 藤川亜沙美, 高田健人, 長瀬香織, 松本菜々, 榎裕美, 高田和子, 大原里子, 小山秀夫, 杉山みち子. (2019). 介護保険施設入所高齢者における入院、死亡に関わる低栄養とミールラウンドによる観察項目との関連. 日本健康・栄養システム学会雑誌,18(2),12-20.
- 4) 藤川亜沙美, 高田健人, 長瀬香織, 松本菜々, 榎裕美, 高田和子, 大原里子, 小山秀夫, 杉山みち子. (2019). 介護保険施設入所高齢者におけるミールラウンド体制と入院、死亡との関連. 日本健康・栄養システム学会雑誌,18(2),21-29.
- 5) Kei Nakajima, Taizo Iwane, Ryoko Higuchi, Michi Shibata, Kento Takada, Jun Uda, Mami Anan, Michiko Sugiyama, Teiji Nakamura. (2019). Kanagawa Investigation of the Total Check-up Data from the National database (KITCHEN): protocol for datadriven population-based repeated crosssectional and 6-year cohort studies. *BMJ Open* 2019;0:e023323. doi:10.1136/bmjopen-2018-023323.
- 6) Nakajima K, Higuchi R, Iwane T, Shibata M, Takada K, Sugiyama M, Matsuda M, Nakamura T. High incidence of diabetes in people with extremely high HDL cholesterol: Results of the Kanagawa Investigation of Total Checkup Data from the National Database-1 (KITCHEN-1). *Journal of Clinical Medicine*. 2019;8(3). pii: E381.

3 その他の著作

- 1) 高田健人 (研究代表者). 神奈川県健康団地未病 (低栄養) 対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」報告書 (平成 28-30 年度). 2019 年 3 月.
- 2) 杉山みち子 (委員長), 小山秀夫, 井上崇, 宇田淳, 榎裕美, 大原里子, 加藤昌彦, 荻部康子, 高田和子, 高田健人, 田中和美, 堤亮介, 遠又靖丈, 長瀬香織, 中村春基, 野地有子, 光山誠, 横内俊弘, 浅見桃子, 藤川亜沙美. 平成 30 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金 (老人保健健康増進等事業分) リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究事業報告書. 335 頁. 日本健康・栄養システム学会. 2019 年 3 月.

4 学会等での活動

- 1) 高田健人.介護報酬制度改定における栄養ケア・マネジメントに関する調査研究班に携わって－研究者として歩み始めた5年間－.第18回日本健康・栄養システム学会リレー発表I.2018年6月
- 2) 高田健人,堤亮介,長瀬香織,田中和美,高田和子,宇田淳,榎裕美,大原里子,加藤昌彦,苅部康子,遠又靖丈,西村秋生,西宮弘之,野地有子,馬場真佐美,和田涼子,松山紗奈江,藤川亜沙美,長谷川未帆子,小山秀夫,杉山みち子.認知症対応型共同生活介護における栄養管理のあり方に関する調査研究－事業所、職員、入居者実態調査から－.第18回日本健康・栄養システム学会.2018年6月
- 3) 堤亮介,高田健人,長瀬香織,田中和美,高田和子,宇田淳,榎裕美,大原里子,加藤昌彦,苅部康子,遠又靖丈,西村秋生,西宮弘之,野地有子,馬場真佐美,和田涼子,松山紗奈江,藤川亜沙美,長谷川未帆子,小山秀夫,杉山みち子.認知症対応型共同生活介護入居者における低栄養と個別要因及び管理栄養士による関わりとの関係.第18回日本健康・栄養システム学会.2018年6月
- 4) 長瀬香織,藤川亜沙美,高田健人,小山秀夫,杉山みち子.介護保健施設入所高齢者における栄養ケア・マネジメントの構造及び経過が「施設内看取り」「在宅復帰」に及ぼす影響.第18回日本健康・栄養システム学会.2018年6月
- 5) 川畑明日香,藤谷朝実,高田健人,長瀬香織,白井正樹,杉山みち子.神奈川県指定障害者支援施設における栄養ケア・マネジメントに関する研究:入所者横断調査から(第1報).第18回日本健康・栄養システム学会.2018年6月
- 6) 加藤美和,滝沢彩乃,濱田秋平,細野未希子,川畑明日香,藤谷朝実,高田健人,長瀬香織,白井正樹,杉山みち子.神奈川県指定障害者支援施設における栄養ケア・マネジメントに関する研究:施設調査.第18回日本健康・栄養システム学会.2018年6月

5 学会,協会,公的団体の委員など

- 1) 第18回日本健康・栄養システム学会実行委員(6月23,24日.神奈川県立保健福祉大学)
- 2) 神奈川県栄養士会研究教育事業部会 役員(通年)
- 3) 神奈川県栄養士養成施設協会 管理栄養士養成部会 臨地実習(公衆栄養分野)担当(通年)

6 学内教育活動

<学部担当科目(必修・選択科目)>

- 1) 杉山みち子,高田健人,他.栄養教育各論I.4/12「地域在住高齢者の介護予防」
- 2) 向井友花,高田健人.食品衛生学実験.(半期)
- 3) 山西倫太郎,高田健人.食品学実験I.(半期)
- 4) 杉山みち子,佐野喜子,藤谷朝実,高田健人,他.栄養教育各論II.12/4「地域在住高齢者の介護予防・栄養改善」

<学部担当科目（臨地実習）>

- 5) 佐野喜子, 高田健人, 徳永美希. 公衆栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ. (通年)
- 6) 外山健二, 中島啓, 杉山みち子, 鈴木志保子, 倉貫早智, 五味郁子, 駿藤晶子, 長瀬香織, 徳永美希, 高田健人 他. 臨床栄養学臨地実習Ⅱ. (通年)
- 7) 中島啓, 外山健二, 杉山みち子, 鈴木志保子, 倉貫早智, 五味郁子, 駿藤晶子, 長瀬香織, 徳永美希, 高田健人 他. 臨床栄養学臨地実習Ⅰ. (通年)

<学部担当科目（その他）>

- 8) 高田健人. 栄養学科国家試験対策「疫学・栄養疫学・食事調査法」 10/2, 10/15, 1/22

<実践教育センター 栄養ケア・マネジメント課程担当科目>

- 9) 高田健人, 徳永美希, 長谷川江都子. 栄養ケア・マネジメントの展開 1 (品質改善活動)「情報の活用」 6/2
- 10) 高田健人, 徳永美希, 長谷川江都子. 栄養ケア・マネジメントの展開 1 (品質改善活動)「文献レビュー」 6/16
- 11) 駿藤晶子, 高田健人, 徳永美希, 樋口良子, 長瀬香織 長谷川江都子. 事例検討 (ヒューマンサービスを高める事例検討) 6/16, 7/7, 8/25
- 12) 杉山みち子, 藤谷朝実, 佐野喜子, 外山健二, 駿藤晶子, 高田健人, 飯田綾香, 徳永美希, 樋口良子, 長瀬香織, 長谷川江都子. 栄養ケア・マネジメントの展開 1 (品質改善活動)【中間発表】 10/20【最終発表】 2/2

<卒業研究等指導補助>

- 13) 卒業論文指導補助. 栄養ケア・マネジメント研究室 (指導教員 杉山みち子) 4年生 4名, 3年生 3名の卒論指導補助 (指導教員のもと、文献検索・統計解析・論文作成に関する指導): ①滝沢彩乃「神奈川県健康団地未病 (低栄養) 対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究—ストラクチャー・プロセス評価・改善 (最終年度)—」、②加藤美和「神奈川県指定障害者支援施設における栄養ケア・マネジメントに関する研究: 施設調査」、③細野未希子「Y市在住要支援低栄養リスク者における「要介護度悪化及び死亡」に対する付加要因についての研究～4年5ヵ月間の追跡研究から～」、④濱田秋平「Y市在住要支援高齢者における〈低栄養リスク〉〈身体状況〉〈地域とのつながり〉と「要介護度悪化及び死亡」との関係～4年5ヵ月間の追跡研究から～」 (通年)
- 14) 修士論文指導補助. 栄養ケア・マネジメント研究室 (指導教員 杉山みち子) 修士課程 2年 1名、1年 2名の修士論文指導補助 (指導教員のもと、研究計画・文献検索・統計解析等の指導): 川端明日香「神奈川県指定障害者支援施設における栄養ケア・マネジメントに関する研究」 (通年)
- 15) その他、栄養学科学生の卒論作成における統計解析指導 (通年)

<その他>

- 16) チューター会学生支援

7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献研究センター研究支援部門 委員
- 2) 卒業式・入学式実行委員会 委員

8 社会貢献

- 1) 「神奈川県健康団地未病（低栄養）対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究」において、住民高齢者の栄養相談や栄養カフェによる栄養改善の取り組み、夏祭りへのボランティア参加（研究代表者）（通年）
- 2) 横須賀地区栄養士連絡協議会イベントボランティア（10/7 ガス祭り、3/23 栄養まつり）
- 3) オープンキャンパス（8/4、8/5）、栄養学科ミニオープンキャンパス（3/27）

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 高田健人、樋口良子、飯田綾香、長瀬香織、徳永美希、藤川亜沙美、中島啓、杉山みち子、中村丁次との共同研究事業：神奈川県健康団地未病（低栄養）対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究 ※28-30 年度の 3 年間の継続事業（研究代表者）
- 2) 杉山みち子、小山秀夫、高田和子、宇田淳、榎裕美、大原里子、加藤昌彦、荻部康子、高田健人、田中和美、堤亮介、遠又靖丈、長瀬香織、西村秋生、西宮弘之、野地有子、馬場真佐美、和田涼子、松山紗奈江、藤川亜沙美、長谷川未帆子。平成 30 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究事業（分担研究者）
- 3) 中村丁次、外山健二、杉山みち子、中島啓、藤谷朝実、五味郁子、高田健人、山本茂、中原慎二、向井友花。ベトナム国医療施設における「栄養不良の二重負荷」と栄養管理システムの実態（平成 29 年度科学研究費助成事業 基盤研究 B 2,000 千円）※29-31 年度の 3 年間の継続研究（分担研究者）
- 4) 中村丁次、杉山みち子、藤谷朝実、飯田綾香、高田健人、大和田浩子、笹田哲、田村文誉、行實志都子 他。平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の検証等のための研究（研究代表者 中村丁次の分担研究者）6,000 千円 ※30-31 年度の 2 年間の継続研究（分担研究者）
- 5) 中島啓、岩根泰蔵、樋口良子、杉山みち子、高田健人 他。ナショナルデータベースを用いた生活習慣病の臨床疫学研究 — 神奈川県における横断・縦断解析 —（分担研究者）

14 その他

- 1) 神奈川県立保健福祉大学同窓会栄養学科委員会「おむすびの会」事務局長

徳永 美希

2 学術論文

- 1) 五味郁子, 住野亜衣, 松田園子, 鳥羽麻比, 徳永美希. 神奈川県 A 市在住高齢者における買い物困難感と食品アクセスの関連. 神奈川県立保健福祉大学誌. 第 16 巻第 1 号, 77-85, 2019.1

3 その他の著作

- 1) 徳永美希, 樋口良子. 嚥下調整食の地域連携の実践～横須賀地区嚥下調整食分類早見集の作成～. 地域栄養経営. 1, 54-59. 2018 年 6 月
- 2) 横須賀地区嚥下調整食分類早見集 (Vol2) 第 2 版 編集

4 学会等での活動

- 1) 樋口良子, 向井洋子, 名古屋貴子, 高田千春, 秋山知子, 徳永美希. 「横須賀地区嚥下調整食分類早見集」の利用と改訂版作成について. 第 18 回日本健康・栄養システム学. 2018.6.23
- 2) 徳永美希, 樋口良子. 「嚥下調整食分類 2013」を理解するための研修プログラムの構築. 第 18 回日本健康・栄養システム学. 2018.6.23
- 3) 堀内理恵, 眞木優子, 徳永美希, 高橋徹. 教員の直接指導が園児の食事中の行動や残菜率に及ぼす影響. 第 65 回日本栄養改善学会学術大会. 2018.9.4
- 4) 五味郁子, 住野亜衣, 松田園子, 鳥羽麻比, 徳永美希. 神奈川県 A 市在住高齢者の買い物困難感と食品アクセス、食品摂取状況との関連. 第 65 回日本栄養改善学会学術大会. 2018.9.4
- 5) 徳永美希. 嚥下食マッピング～横須賀地区嚥下調整食分類早見集について～. 第 24 回神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会. 2019.3.3

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 横須賀地区栄養士連絡協議会運営委員

6 学内教育活動

- 1) 外山健二, 藤谷朝実, 徳永美希. 臨床栄養学実習 I (必修科目) 3 学年. 2018.04～2018.07
- 2) 五味郁子, 徳永美希. 栄養教育各論 II, 栄養教育論実習 (必修科目) 3 学年. 2018.10～2018.12
- 3) 外山健二, 中島啓, 五味郁子, 藤谷朝実, 徳永美希, 長瀬香織. 臨床栄養学臨地実習 I・II (必修科目) 3・4 学年. 2018.04～2019.03
- 4) 佐野喜子, 徳永美希. 公衆栄養学実習 (必修科目) 3 学年. 2018.10～2019.1
- 5) 高田健人, 徳永美希. 実践教育センター 栄養ケア・マネジメント課程 栄養ケア・マネジメントの展開 (品質改善活動) 情報の活用

- 6) 藤谷朝実, 駿藤晶子, 高田健人, 徳永美希, 樋口良子, 長瀬香織, 長谷川江都子. 実践教育センター 事例検討 (ヒューマンサービスを高める事例検討)
- 7) 杉山みち子, 徳永美希他. 実践教育センター 栄養ケア・マネジメント課程 栄養ケア・マネジメントの展開 (品質改善活動) (中間発表, 最終発表)
- 8) 栄養学科卒業論文発表会運営

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパス、ミニオープンキャンパス
- 2) 横須賀地区栄養士連絡協議会 研修会等の運営

長瀬 香織

2 学術論文

- 1) 長瀬香織, 田中和美, 磯部壮一郎, 高田健人, 中原慎二, 市川政雄, 杉山みち子. (2018). 神奈川県 Y 市在住要支援高齢者の低栄養リスクと「料理・買い物状況」及び「地域とのつながり」との関係. 日本健康・栄養システム学会雑誌,17(2),31-41.
- 2) 松山紗奈江, 加藤昌彦, 榎裕美, 宇田淳, 高田和子, 大原里子, 遠又靖丈, 苅部康子, 堤亮介, 小山秀夫, 高田健人, 藤川亜沙美, 長瀬香織, 松本菜々, 杉山みち子. (2019). 介護保険施設における経口維持による看取り及び在宅復帰支援のための栄養ケア・マネジメントの関連要因についての横断的検証～特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設における全国調査より～. 日本健康・栄養システム学会雑誌,18(2),2-11.
- 3) 藤川亜沙美, 高田健人, 長瀬香織, 松本菜々, 榎裕美, 高田和子, 大原里子, 小山秀夫, 杉山みち子. (2019). 介護保険施設入所高齢者における入院、死亡に関わる低栄養とミールラウンドによる観察項目との関連. 日本健康・栄養システム学会雑誌,18(2),12-20.
- 4) 藤川亜沙美, 高田健人, 長瀬香織, 松本菜々, 榎裕美, 高田和子, 大原里子, 小山秀夫, 杉山みち子. (2019). 介護保険施設入所高齢者におけるミールラウンド体制と入院、死亡との関連. 日本健康・栄養システム学会雑誌,18(2),21-29.

3 その他の著作

- 1) 杉山みち子 (委員長), 小山秀夫, 井上崇, 宇田淳, 榎裕美, 大原里子, 加藤昌彦, 苅部康子, 高田和子, 高田健人, 田中和美, 堤亮介, 遠又靖丈, 長瀬香織, 中村春基, 野地有子, 光山誠, 横内俊弘, 浅見桃子, 藤川亜沙美. 平成 30 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金 (老人保健健康増進等事業分) リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究事業報告書. 335 頁. 日本健康・栄養システム学会. 2019.3.

4 学会等での活動

- 1) 長瀬香織, 藤川亜沙美, 高田健人, 小山秀夫, 杉山みち子. 介護保健施設入所高齢者における栄養ケア・マネジメントの構造及び経過が「施設内看取り」「在宅復帰」に及ぼす影響. 第 18 回日本健康・栄養システム学会. 2018.6.
- 2) 高田健人, 堤亮介, 長瀬香織, 田中和美, 高田和子, 宇田淳, 榎裕美, 大原里子, 加藤昌彦, 苅部康子, 遠又靖丈, 西村秋生, 西宮弘之, 野地有子, 馬場真佐美, 和田涼子, 松山紗奈江, 藤川亜沙美, 長谷川未帆子, 小山秀夫, 杉山みち子. 認知症対応型共同生活介護における栄養管理のあり方に関する調査研究—事業所、職員、入居者実態調査から—. 第 18 回日本健康・栄養システム学会. 2018.6.
- 3) 堤亮介, 高田健人, 長瀬香織, 田中和美, 高田和子, 宇田淳, 榎裕美, 大原里子, 加藤昌彦, 苅部康子, 遠又靖丈, 西村秋生, 西宮弘之, 野地有子, 馬場真佐美, 和田涼子, 松山紗奈江, 藤川亜沙美, 長谷川未帆子, 小山秀夫, 杉山みち子. 認知症対応型共同

生活介護入居者における低栄養と個別要因及び管理栄養士による関わりとの関係.
第 18 回日本健康・栄養システム学会. 2018.6.

- 4) 川畑明日香, 藤谷朝実, 高田健人, 長瀬香織, 臼井正樹, 杉山みち子. 神奈川県指定障害者支援施設における栄養ケア・マネジメントに関する研究: 入所者横断調査から (第 1 報). 第 18 回日本健康・栄養システム学会. 2018.6.
- 5) 加藤美和, 滝沢彩乃, 濱田秋平, 細野未希子, 川畑明日香, 藤谷朝実, 高田健人, 長瀬香織, 臼井正樹, 杉山みち子. 神奈川県指定障害者支援施設における栄養ケア・マネジメントに関する研究: 施設調査. 第 18 回日本健康・栄養システム学会. 2018.6.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 第 18 回日本健康・栄養システム学会実行委員 (神奈川県立保健福祉大学 2018.6.)

6 学内教育活動

【学部担当科目 (必須・選択科目)】

- 1) 藤谷朝実, 長瀬香織. 調理学実習. 2018.4.～2018.7.
- 2) 杉山みち子, 長瀬香織. 栄養教育論各論Ⅱ・栄養教育論実習. 2018.10～2019.1.
- 3) 向井友花, 長瀬香織. 食品学実験Ⅱ. 2018.10～2019.2.

【学部担当科目 (臨地実習)】

- 1) 外山健二, 中島啓, 五味郁子, 藤谷朝実, 徳永美希, 長瀬香織. 臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱの運営補助. 2018.4.～2019.3.

【その他】

- 1) 国家試験対策講義. 2018.10.～2019.2. (1 回)
- 2) 栄養学科進路支援担当補佐. 2018.4.～2019.3.
- 3) 保健医療福祉概論の事前・事後指導. 2018.6.～2018.8.
- 4) チューター会. 2018.4～2018.5.
- 5) 入学式オリエンテーション. 2018.4.
- 6) 駿藤晶子, 高田健人, 徳永美希, 樋口良子, 長瀬香織 長谷川江都子. 実践教育センター (ヒューマンサービスを高める事例検討) 2018.6～8.
- 7) 杉山みち子, 藤谷朝実, 佐野喜子, 外山健二, 駿藤晶子, 高田健人, 飯田綾香, 徳永美希, 樋口良子, 長瀬香織, 長谷川江都子. 実践教育センター (栄養ケア・マネジメントの展開 1 (品質改善活動) (【中間発表】 2018.10. 【最終発表】 2018.2.))

【卒業研究等指導補佐】

- 1) 卒業論文指導支援. 栄養ケア・マネジメント研究室 (指導教員杉山みち子もと、文献検索・統計解析・論文作成に関する指導支援) 4 年生 4 名. ①「Y 市在住要支援高齢者における〈低栄養リスク〉〈身体状況〉〈地域とのつながり〉と「要介護度悪化及び死亡」との関係～4 年 5 ヶ月間の追跡研究から～」、②「Y 市在住要支援低栄養リスク者における〈要介護度悪化及び死亡〉に対する付加要因についての研究～4 年 5 ヶ月間の追跡研究から～」、③「神奈川県指定障害者支援施設における栄養ケア・マネジメントに関する研究: 施設調査」、④神奈川県健康団地未病 (低栄養) 対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究—ストラクチャー・プロセス評価・改善 (最終年度)

一.

- 2) 修士論文指導支援. 栄養ケア・マネジメント研究室 (指導教員杉山みち子のもと文献検索・統計解析・論文作成に関する支援). 修士課程 2 年 1 名. 「神奈川県指定障害者支援施設入居者における栄養ケア・マネジメントのあり方に関する研究」.
- 3) 博士課程サービス評価論におけるシステマティックレビューの指導支援.2018.5.
- 4) 栄養ケア・マネジメント研究室、地域栄養活動研究室のゼミ活動における外書講読 (指導教員杉山みち子、田中和美のもと、文献検索に関する指導支援) 3 年生 5 名.

8 社会貢献

- 1) 逗子市介護予防のための地域ケア会議におけるケア・マネジメント支援
- 2) 大和市健康福祉部づくり推進課非常勤職員
- 3) 横須賀地区栄養士連絡協議会における活動支援、イベントボランティア (栄養まつり 2018.3.)
- 4) 「神奈川県健康団地未病 (低栄養) 対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究」において、住民高齢者の栄養相談や栄養カフェによる栄養改善の活動支援.
- 5) オープンキャンパス.2018.8. 栄養学科ミニオープンキャンパス.2018.3.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 高田健人, 樋口良子, 飯田綾香, 長瀬香織, 徳永美希, 藤川亜沙美, 中島啓, 杉山みち子, 中村丁次との共同研究事業: 神奈川県健康団地未病 (低栄養) 対策事業「県営団地居住高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究 ※28-30 年度の 3 年間の継続事業.
- 2) 杉山みち子, 小山秀夫, 高田和子, 宇田淳, 榎裕美, 大原里子, 加藤昌彦, 苅部康子, 高田健人, 田中和美, 堤亮介, 遠又靖丈, 長瀬香織, 西村秋生, 西宮弘之, 野地有子, 馬場真佐美, 和田涼子, 松山紗奈江, 藤川亜沙美, 長谷川未帆子. 平成 30 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金 (老人保健健康増進等事業分) リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究事業 (分担研究者).

樋口 良子

2 学術論文

- 1) Ryoko Higuchi, Taizo Iwane, Kaname Suwa and Kei Nakajima . Adjustment for Waist Circumference Reveals a U-Shaped Association Between Glycated Hemoglobin Levels and Body Mass Index in Young Adults . Canadian Journal of Diabetes. 2018. S1499-2671(17)31057-2.
- 2) Nakajima K, Iwane T, Higuchi R, Shibata M, Takada K, Uda J, Anan M, Sugiyama M, Nakamura T. Kanagawa Investigation of the Total Check-up Data from the National database (KITCHEN) : protocol for data-driven population-based repeated cross-sectional and 6-year cohort studies. BMJ Open.2019 Feb 21;9(2):e023323,doi:10.1136/bmjopen-2018-023323.
- 3) Nakajima K, Higuchi R, Iwane T, Shibata M, Takada K, Sugiyama M, Matsuda M, Nakamura T. High Incidence of Diabetes in People with Extremely High High-Density Lipoprotein Cholesterol : Results of the Kanagawa Investigation of Total Checkup Data from the National Database-1 (KITCHEN-1). J Clin Med.2019 Mar 19;8(3). Pii:E381.doi:10.3390/jcm8030381.
- 4) 中西朋子, 吉川達哉, 高村晴美, 樋口良子, 鈴木志保子. 50歳代男性消防職員における健康・生活観の実態および健康・生活観と運動習慣との関係. 神奈川県立保健福祉大学大学誌 2019 ; 16(1). 15-24
- 5) 吉川達哉, 小林由依, 中西朋子, 樋口良子, 鈴木志保子. 小学校給食における主食の配食状況とエネルギー摂取量の関係. 神奈川県立保健福祉大学大学誌 2019 ; 16(1). 25-35

3 その他の著作

- 1) 徳永美希, 樋口良子. 事例報告「嚙下調整食の地域連携の実践～横須賀地区嚙下調整食分類早見集の作成～」. 2018.summer 地域栄養経営 ; 第1巻第1号. 54-59

4 学会等での活動

- 1) 樋口良子, 向井洋子, 名古屋貴子, 高田千春, 秋山知子, 徳永美希. 「横須賀地区嚙下調整食分類早見集」の利用と改訂版作成について. 第18回日本健康・栄養システム学会. 2018.6.23
- 2) 徳永美希, 樋口良子. 「嚙下調整食分類2013」を理解するための研修プログラムの構築. 第18回日本健康・栄養システム学会. 2018.6.23
- 3) 中西朋子, 樋口良子, 鈴木志保子, 川久保清. 5・6歳の幼児におけるスマートフォン・携帯電話の使用と起床・就床・就寝時刻との関係. 第18回日本健康・栄養システム学会. 2018.6.23
- 4) 向井洋子, 高田千春, 名古屋貴子, 樋口良子, 徳永美希, 秋山知子. 地域連携に向けた横須賀地区栄養士連絡協議会の活動経過報告について. 第18回日本健康・栄養シ

ステム学会. 2018.6.23

- 5) 中西朋子, 樋口良子, 高村晴美, 栗原和也, 吉川達哉, 鈴木志保子. 保育所に就園している 5・6 歳児における睡眠と行動に関する研究. 第 65 回日本栄養改善学会. 2018.9.5
- 6) 吉川達哉, 樋口良子, 高村晴美, 中西朋子, 鈴木志保子. 小学校給食における主食の配食状況とエネルギー摂取量の関連. 第 65 回日本栄養改善学会. 2018.9.5
- 7) 樋口良子, 田中琴音, 岩根泰蔵, 諏訪要, 中島啓. 若年成人の低体重における糖代謝異常と腹囲による調整の意義. 第 40 回日本臨床栄養学会. 2018.10.6
- 8) 田中琴音, 岩根泰蔵, 樋口良子, 中島啓. 胃部自覚症状と中耳炎既往・聴力損失の関連－健康診断受診者 7 万人の横断研究－. 第 40 回日本臨床栄養学会. 2018.10.6
- 9) 阿南真未, 柴田みち, 岩根泰蔵, 樋口良子, 杉山みち子, 中村丁次, 中島啓. 就寝前夕食・朝食欠食と糖尿病との関連について－特定健診受診者を対象とした 6 年間後方視的コホート研究－. 第 40 回日本臨床栄養学会. 2018.10.7
- 10) 柴田みち, 阿南真未, 岩根泰蔵, 樋口良子, 杉山みち子, 中村丁次, 中島啓. 高齢者のやせにおける血清 Aspartate aminotransferase 高値の意義－特定健診受診者 150 万人の横断研究－. 第 40 回日本臨床栄養学会. 2018.10.7
- 11) 駿藤晶子, 樋口良子, 水澤香織. 給食経営管理論実習における学生の知識・技術到達度に及ぼす要因の検討 (第 2 報). 第 14 回給食経営管理学会. 2018.11.24

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 横須賀栄養管理研究会幹事. 2018.4～2019.3
- 2) 社会福祉法人横須賀基督教社会館給食委員会 SV. 2018.4～2019.3

6 学内教育活動

- 1) 給食経営管理論実習及び臨地実習, 臨床栄養学実習臨地実習 I, 臨床栄養学実習 II, 応用栄養学実習. 2018.4～2019.3
- 2) 実践教育センター「栄養ケア・マネジメント過程. 事例検討, 中間・最終発表の指導補助及び助言. 2018.6～2019.2
- 3) 国家試験対策特別講義. 2019.1
- 4) 食育サークル・シーラボ☆の献立作成指導及び活動に関する助言. 2018.4～2019.3

7 学内各種委員会活動

- 1) 入学式・卒業式実行委員会. 2018.4～2019.3

8 社会貢献

- 1) 食育サークル・シーラボ☆の献立指導者として「神奈川・食育を進める会」との共同でバランスアップメニューの季刊リーフレット作成等により, 県民の食生活改善サポートを行った. 2018.4～2019.3
- 2) 神奈川県健康団地未病 (低栄養) 対策事業「県営団地高齢者の低栄養改善の仕組みづくり」に関する研究において, かもめ団地対象者に栄養カフェを実施した. 2018.4～

2019.3

- 3) 横須賀市立看護専門学校「栄養・生化学」非常勤講師. 2018.4～2019.1
- 4) 神奈川県摂食嚥下リハビリテーション研究会横須賀三浦地区「創」プロジェクトメンバーとして企画運営. 2018.4～2019.3
- 5) 社会福祉法人横須賀基督教社会館給食委員会 SV として給食改善に向け支援した. 2018.4～2019.3
- 6) 栄養の日「栄養ワンダー」啓発支援を実施した. 2018.7.25 (神奈川県衛生学園専門学校), 2018.8.4-5 (本学)

9 講演, 放送

- 1) 平作グループホーム「平作カフェ」研修会講演. 「いざ…という災害時に備える、栄養と食事」. 2018.6.21
- 2) 横須賀市子育て支援事業「子育てぷろぐらむ(栄養編)」講義. 2018.9.13, 11.29
- 3) 第14回横須賀栄養管理研究会学術集会ミニレクチャー. 「横須賀地区における嚥下調整食の地域連携の実践～横須賀地区嚥下調整食分類早見集・プロジェクト「創」について～」. 2018.9.26
- 4) 神奈川工科大学看護学部看護学科・在宅看護活動論Ⅰの講義「在宅療養における栄養管理」. 2018.10.8
- 5) 介護予防サポーター養成講座「低栄養予防のための食生活」. 2019.1.24
- 6) ライフサポートいずみ研修会講演. 「小規模事業所における災害時の食事提供の考え方と実際」. 2019.2.19

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 中島啓, 岩根泰蔵, 樋口良子, 飯田綾香. 平成30年度ごはん食健康データベース整備事業研究・調査助成金. 平成30年度分担金. 180千円

11 学内研究助成金の受託

- 1) 樋口良子, 中島啓. 栄養学科研究費. 人工甘味料及び甘味が血糖値に与える影響と栄養食事指導における安全かつ効果的な利用検討. 300千円